令和元年度
事　業　報　告　書

目　　次

１、情勢と総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁
２、令和元年度の特徴（重点テーマの振り返り）・・・・・・・・・・・　２頁
３、社会福祉法人の運営・管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３頁
４、社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業・・・・・・・・・　６頁
５、介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業・・・・・・・・１３頁
６、公益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９頁
７、収益を目的とする事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９頁
８、その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
９、資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６頁

社会福祉法人　飯豊町社会福祉協議会

1 情勢と総括

平成30年4月の改正社会福祉法の施行により、全国の自治体においては、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備が進められ、本町においても地域福祉計画の策定・改定が行われました。

社会福祉協議会として、今日的な地域課題に応える活動の方向性を模索し、具体的な事業を展開する中においては、行政との連携・協働が重要となるため、第二次地域福祉活動計画の策定にあたっては、地域福祉計画と一体となって取り組み、住民が目指すこれからの地域社会の姿や事業活動の展開方策などについてあらためて共有・共感する機会となりました。

元年度は、特に、個人や世帯を取り巻く環境に大きな変化が見られ、生活困窮を始めとする複雑な家庭問題や雇用を通じた生活保障の機能低下など複合的で多様化した事例が多く見られたことが特徴となります。また、それらを呼応する形で、豊かさの価値観や家族観、さらには働き方、ライフスタイルにも変化が認められていることから、柔軟かつ機動的な相談支援が強く求められるようになりました。

そのような中で、大型連休中の3日間においては、町民の暮らしに不安や影響が生じないようにするため、法人の公益性を鑑みて、ほほえみカー運行や各種相談窓口を通常通り稼働するなど社会環境の変化に対応した住民目線の社協運営を追求して参りました。

地元の社会福祉法人の連携を一層強化し、専門性を活かしながら地域課題を共に解決していくための新しいネットワークづくりとして、町内に事業所を構える4法人による情報交換会が初めて開かれ、地域における公益的な取り組みの推進を目的とした「社会福祉法人連絡会」の立ち上げに向けて合意形成が図られました。一層、社会福祉法人同士が繋がり、地域社会に貢献していくための貴重な資源として期待感が高まります。

経営の立て直しを掲げた新しい組織機構のもとで、介護部門の業績は、少しずつ改善傾向にあるものの、先行きがつかめないなど依然として厳しい経営となりました。

地域密着型通所介護（デイサービス）は、他事業所の休業などの外的要因によって数値目標を大きく達成できたものの、ショートステイの利用率は、1月から7割を下回り苦戦が続いたことで大幅な増収には至りませんでした。

一方で、機構改革により内部事業所間の横断した連携が図られるようになり、共通利用者の情報共有や課題となっていた職員相互の応援体制が確立されつつあります。

来年度は、「福祉の里めざみ」開所から20年を迎えることになります。社協ならではの特色ある介護サービスの提供を目指していくことと、介護人材の育成、獲得を推進しながら、地域から信頼され、成長していくための戦略を練ることが課題です。

おわりに、新しい令和の時代にふさわしい法人運営を心掛けてきた中で、会員制度への深いご理解とご協力に加え、社会福祉事業に対し、沢山の方々からご支援をいただいたことに対し、あらためて謝意を表する次第です。また、町民の皆様が、わたしたちの活動に触れ、「住民の日常をつないでいる組織」との評価や励ましを寄せていただくこともあり、多くの自信と確かな成長を手にすることができた一年でもありました。

新型コロナウイルス感染症による影響が危惧される中において、一日でも早く現状の社会情勢が終息に向かい、地域での福祉活動がこれまで通り実施されることを願い総括といたします。

2 令和元年度の特徴

【”フリースペース・Ｙｅｌｌ（エール）”が施設内にオープン】

３０年度共同募金への高額寄附により、事務所入口ロビー内に、新たに「フリースペース」が整備されました。「エールを送る」の意味から町内の福祉活動を“応援”できる場として、愛称を「エール」に決定し、「つながる」を大事に町民の皆様が気軽に訪れることができる空間を目指していきます。また、認知症カフェや子ども食堂などの多様な交流スペースとして活用させていただきます。

【第２次飯豊町地域福祉活動計画の策定完了】

令和２年４月から令和７年３月までの５年を期間とする新しい計画づくりが進められました。第１次計画では、飯豊町が地域福祉計画を、本会が地域福祉活動計画を互いに連携しつつも、各々で策定製本をしてきましたが、このたびは両者が意識を共有し一体化して策定にあたり、計画書も一冊にまとめられました。

新たに、「“共に生きる”を実践し　信頼・安心・生きがいのある地域へ」をスローガンに掲げ、地域共生社会の実現に向けて福祉分野に関連する幅広い「協働」を呼びかけながら策定が進められました。

【集落活動事例集“笑顔咲く　元快集楽（げんかいしゅうらく）”が完成】

「集落ワークショップ」の事業から見えてきた集落における支え合いの形を一冊の本にまとめる取り組みが３０年度にスタートし、ようやく完成を迎えることができました。自治会未加入やリーダー成り手不足など集落の問題も深刻化している中で、集落の仲間がお互いの得意（技術や知識）や苦手（または不安）を共有し合い創りあげてきた素晴らしい取り組みや、どこでも気軽に取り入れられる活動事例等をブックレットで紹介し、地域全体に標榜することによって、みんなが輝ける集落づくりを助けるものです。

【福祉の里めざみ利用者向けの食事提供サービスを見直し】

給食業務委託業者の撤退に伴い、６月から直営による食事提供サービスに切り替えて実施してきました。調理員の人員不足を補うための手法として、また、「質」の高い食事サービスを提供する業者から調理品の一部配送を受けながら、利用者の満足に加え、安全、安心を実現できる体制づくりを行いました。

＜重点テーマの振り返り＞

項目別	重点テーマ（目標）	振り返り（評価）
地域福祉事業	▼地域福祉活動計画を策定し、住民が支え合いながら活躍できる地域づくりを推進します。 ▼成年後見事業の将来的な支援体制づくりを進めます。	□住民主体の支え合いづくりを促進するため”学びの場”と”実践する場”双方の充実を図るための活動を着実に進めました。 □置賜定住自立圏構想に係る成年後見支援事業について、地域包括支援センターとの連携により検討を行いましたが、具体的な方向性はこれからになります。
介護事業	▼介護部門の黒字化を計画的に達成できるよう新規利用者の獲得と人件費比率の抑制に向けて職員同士の連携を図ります。 ［介護保険事業の目標値設定］ ・ケアマネジメント　105人（月平均） ・ホームヘルプ　220回（月平均） ・地域密着型デイサービス　66%（利用率） ・認知症対応型デイサービス　73%（利用率） ・ショートステイ　77%（利用率）	□経営会議を月１回開催し、統一した目標意識を磨くことで業務改善・改革に取り組むことが出来ました。 □安全に配慮し安心して利用いただくことができました。 ［介護保険事業の業績］ ・ケアマネジメント　111.8人（月平均） ・ホームヘルプ　284.6回（月平均） ・地域密着型デイサービス　78.6%（利用率） ・認知症対応型デイサービス　73.7%（利用率） ・ショートステイ　73.5%（利用率）
その他（運営全般）	▼複雑、多様化する福祉課題や環境の変化に柔軟に対応できる組織を目指します。	□運営会議を通じ、発展できる組織となるための議論を進めました。専門職の正規化、人材養成、新規採用のあり方が新たな課題です。

3 社会福祉法人の運営・管理 【社会福祉拠点】

（1）理 事 会 （定数：９名以上１１名以内） ５回開催

第２４３回 令和 元年 ６月 ６日開催／出席理事（現数１０名中）９名、監事２名出席	
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 53 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会定款の一部変更について（家計相談支援事業の削除）
議案第 54 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会評議員・役員選任規定の一部改正について
議案第 55 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会経理規程の一部改正について（サービス区分の削除）
議案第 56 号	令和元年度飯豊町社会福祉協議会会計収支補正予算（第１号）の同意について
議案第 57 号	平成３０年度飯豊町社会福祉協議会事業報告の承認について
議案第 58 号	平成３０年度飯豊町社会福祉協議会会計収支決算の承認について
議案第 59 号	評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案第 60 号	次期役員候補者の推薦について
議案第 61 号	定時評議員会の招集について
第２４４回 令和 元年 ６月２１日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事２名出席	
議案第 1 号	会長、副会長及び常務理事の選定について
議案第 2 号	社会福祉功労者への感謝状贈呈について
第２４５回 令和 元年 ９月１９日開催／出席理事（現数１０名中） ９名、監事２名出席	
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 3 号	日帰り介護センター福祉の里めざみ指定地域密着型通所介護事業所及び第一号通所事業（飯豊町通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について（食費の引き上げ）
議案第 4 号	日帰り介護センター福祉の里めざみ指定認知症対応型通所介護事業所及び指定介護予防認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正について（食費の引き上げ）
議案第 5 号	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ指定短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正について（食費・居住費の引き上げ）
議案第 6 号	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ指定介護予防短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正について（食費・居住費の引き上げ）
議案第 7 号	短期入所生活介護センター福祉の里めざみ指定障害者短期入所事業所運営規程の一部改正について（食費・居住費の引き上げ）
第２４６回 令和 元年１２月１１日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事２名出席	
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 8 号	飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業における「通所型サービスＡ」の実施について
議案第 9 号	令和元年度社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会会計収支補正予算（第２号）の同意について
議案第 10 号	評議員会の招集について
第２４７回 令和 ２年 ３月１９日開催／出席理事（現数１０名中）１０名、監事２名出席	
報告第 1 号	会長及び常務理事の職務執行状況報告について
議案第 11 号	飯豊町介護福祉移動支援事業の受託について
議案第 12 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会定款の一部改正について（新たな受託事業の追加）
議案第 13 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会就業規則の一部改正について（有給休暇取得単位明確化）
議案第 14 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会社会福祉施設職員人事制度運用規程の一部改正について（施設臨時職員の賃金上限額の引き上げ）
議案第 15 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について（事務局臨時職員の賃金上限額の引き上げ）
議案第 16 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について （勤勉手当支給率の見直し）
議案第 17 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会経理規程の一部改正について（サービス区分の追加）
議案第 18 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会福祉更生資金貸付規程の一部改正について（要件緩和）
議案第 19 号	令和元年度飯豊町社会福祉協議会会計収支補正予算（第３号）の同意について
議案第 20 号	第二次飯豊町地域福祉活動計画（案）の承認について
議案第 21 号	令和２年度飯豊町社会福祉協議会事業計画（案）の同意について
議案第 22 号	令和２年度飯豊町社会福祉協議会会計収支予算（案）の同意について
議案第 23 号	評議員会の招集について

（2）評議員会 （定数：１０名以上１５名以内） ３回開催

第1回《定時評議員会》 令和 元年 ６月２１日開催／出席評議員（現数13名中）10名及び伊藤会長、菅野副会長、須貝監事出席	
議案第 1 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会定款の一部変更について（新たな受託事業の追加）
議案第 2 号	令和元年度飯豊町社会福祉協議会会計収支補正予算（第１号）の承認について
議案第 3 号	平成３０年度飯豊町社会福祉協議会事業報告の承認について
議案第 4 号	平成３０年度飯豊町社会福祉協議会会計収支決算の承認について
議案第 5 号	次期役員の選任について
第２回 令和 元年１２月１９日開催／出席評議員（現数13名中）12名及び伊藤会長、菅野副会長出席	
議案第 6 号	令和元年度飯豊町社会福祉協議会会計収支補正予算（第２号）の承認について
第３回 令和２年３月２７日：決議があったものとみなされる日（決議の省略手続き）	
議案第 7 号	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会定款の一部変更について （同意数１３名）
議案第 8 号	令和元年度飯豊町社会福祉協議会会計収支補正予算（第３号）の承認について（同意数１３名）
議案第 9 号	令和２年度飯豊町社会福祉協議会事業計画（案）の承認について（同意数１３名）
議案第 10 号	令和２年度飯豊町社会福祉協議会会計収支予算（案）の承認について（同意数１３名）

（3）役員懇談会（全役員）

平成３１年４月１８日	介護事業所利用者向けの新たな食事提供サービスについて 事務局職員採用に向けた選考試験等について

（4）会長専決事項（諸規程改廃関係）

令和 元年 ５月２８日	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会被服貸与規程の一部改正について	（第 243 回理事会報告）
令和 元年 ５月２９日	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会職員資格取得研修等支援事業実施要綱の一部改正について	（第 245 回理事会報告）
令和 元年１０月 １日	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会社会福祉施設職員人事制度運用規程の一部改正について	（第 246 回理事会報告）
令和 元年１０月 １日	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について	（第 246 回理事会報告）
令和 元年１２月 １日	社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会認知症カフェ事業実施要綱の制定について	（第 246 回理事会報告）

（5）監事監査（定数： ２名）

令和 元年 ５月２８日	決算定例監査（平成３０年度下半期業務執行状況の監査） 監事２名、会長立会（福祉の里めざみ相談室）
令和 元年１１月２５日	中間定例監査（令和元年度上半期業務執行状況の監査） 監事２名、会長立会（福祉の里めざみ相談室）

（6）その他（法人運営全般・社会福祉施設の管理に関すること）

項 目	内 容
1 地域福祉推進委員会の開催	小地域における福祉活動の推進及び社協活動の円滑を図るため、各集落に地域福祉推進委員を委嘱し、連絡機能の充実と新たな地域課題に関し情報交換を行いました。 （1） 委員会開催状況

地 区	開催日	時 間	場 所
①西部地区	７月 ３日（水）	午後７時～	西部地区公民館
②中津川地区	７月 ８日（月）	午後７時～	中津川地区公民館
③東部地区	７月 ９日（火）	午後６時～	東部地区公民館
④中部地区	７月 ９日（火）	午後７時～	中部地区農村活性化センター
⑤白椿地区	７月１０日（水）	午後７時～	町民総合センター「あ～す」

2 地域福祉を推進するための財源確保	社協会費は普通会費（世帯 1,700 円）、賛助会費（2,000 円以上）となり、地域福祉事業を支える財源としてそれぞれご協力を頂きました。 （1） 社会福祉協議会住民会費協力状況（世帯会費１７口）

項 目	28年度	29年度	30年度	31（元）年度
①金額	3,508,800円	3,495,200円	3,444,200円	3,411,900円
②戸数	2,064件	2,056件	2,026件	2,007件

（2） 社会福祉協議会賛助会費協力状況
２８個人 ８団体／ １２４，０００円（前年同額）

種　　類	件　数	金　額
①理事・監事【各30口】	１１名	３１,０００円
②評議員　【各20口】	１２名	２４,０００円
③歴代正副会長（３名）、副町長、教育長	５名	１４,０００円
④関係機関団体、交通安全協会４支部、役場管理職会	８団体	５５,０００円

(3) 社会福祉事業への寄付の状況

９件／　５７４,７８８円　（前年比５５１,３５８円増）

寄附者（団体）名簿（順不同）	
①小浦　吉明　様（萩生）	②大友　俊治　様（中津川）
③匿名希望　　様	④西部地区公民館文化祭実行委員会　様
⑤西部地区子ども会育成会　様	⑥飯豊町役場ゴルフクラブ　様
⑦横山雅直駐在所長退職記念ゴルフコンペチャリティ様	⑧飯豊町立手ノ子小学校　　様
⑨飯豊町立飯豊中学校第三学年部会様	

3 基金造成及び資産管理

社会福祉基金をはじめ、それぞれの基金の役割がより適正で明確なものになるよう基金管理に努めてきました。

(1) 社会福祉基金運用状況調　（令和２年３月31日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	４３,０２９,００６円	①当年度処分（取崩額）	０円
②本部会計から繰入(寄附金)	５７４,７８８円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	
③当年度利子繰入	４,３１６円		０円
合計	４３,６０８,１１０円	合計	０円

差引残額　４３,６０８,１１０円（次年度繰越）

(2) 介護事業財政調整基金運用状況調　（令和２年３月31日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	１３７,２７２,７４２円	①当年度処分額（取崩額）	１２,０００,０００円
②本部会計から繰入	１,０７３,０００円（介護予防拠点施設管理費）	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	０円
③当年度利子繰入	９,４２９円		
合計	１３８,３５５,１７１円	合計	１２,０００,０００円

差引残額　１２６,３５５,１７１円（次年度繰越）

(3) 職員資格取得研修等支援基金運用状況調　（令和２年３月31日現在）

収入項目	収入額	支出項目	支出額
①前年度末基金残高	５,９７６,８４０円	①当年度処分（取崩額）	０円
②当年度他会計からの繰入	１７５,０００円	②社会福祉事業区分による会計へ支出（利子等）	（資格取得助成、研修費用）
③当年度利子繰入	５９９円		０円
合計	６,１５２,４３９円	合計	０円

差引残額　６,１５２,４３９円（次年度繰越）

(4) ボランティア活動振興基金運用状況調（令和２年３月31日現在）　残高０円

(5) 固定資産取得積立基金運用状況調（令和２年３月31日現在）　残高０円

4 社協・介護サービス経営改善計画の推進

介護事業所ごとに毎月目数値を掲げ、達成状況について全体で共有していくために、新たに主査以上による経営会議を設け、介護部門の経営改善を進めてきました。

(1) 経営目標

①競争に負けない事業展開　②経営を意識した事業展開　③良い人材の育成

(2) 推進会議

①運営会議（１０回）　②経営会議（１５回）

5 在宅複合型老人福祉施設の運営

社会福祉協議会が運営する介護事業所として、その特性に沿った「地域から選ばれる事業所」を継続していくために、４事業所が質の高い、心地よい、かつ安心してご利用いただけるようサービスの提供に努めました。

施設の健全化のための組織機構改革が４月からスタートし、運用面では新しい体制のもと各事業所間の連携が強化され、経営面では赤字幅を縮小することができました。

(1) 資格取得者の状況及び介護職員の配置状況（令和２年３月31日現在）

資格者	有資格者数
社会福祉士	１名
介護支援専門員	９名
介護福祉士	２５名
看護師	３名
社会福祉主事	１５名
栄養士	１名

事業所別	正規	非正規		合計（前年比）
		常勤	非常勤	
居宅介護支援	３	１	０	４（同数）
訪問介護	１	１	２	４（－１）
通所介護	６	１	１３	２０（－４）
短期入所介護	５	３	６	１４（－１）
合　計	１５（－２）	６（－２）	２１（－２）	４２（－６）

※施設長、施設長補佐、看護職員及び調理職員を除く

(2) 施設の年間行事等

月別	行事内容	月別	行事内容
４月	観桜会（20～25日）	10月	合同防災訓練（16日）干し柿づくり 紅葉狩り（28日～31日）
６月	ゆり園見学（6月28日～7月4日）		
７月	春季防災訓練（７月18日） 第２回福祉の里めざみ夏祭り（28日）	12月	クリスマス会（24日～26日）
		１月	だんご飾り（14日）
		２月	節分（３日～５日）
９月	敬老秋彼岸行事（11日～17日）	３月	ひな祭り（２～４日）

給食調理業務委託業者が人材確保の問題を理由として５月末に撤退することに伴い、６月１日より提供形態が変更になりましたが、ご利用者の体調に合わせた食事内容や季節に沿ったメニュー食、手作りおやつの提供を行いました。

(3) 固定資産取得の内容

事業名	時期	金額(円)	備考
①パソコン購入事業（２台）	４月	300,240円	(デイ・ショート)
②特殊浴槽更新事業　（１台）	７月	4,104,000円	町補助4,104,000円
③フリースペース備品事業	９月	367,740円	
④ロビー改修工事	９月	1,000,000円	(共同募金配分)
⑤地域福祉活動車両購入事業	－	1,559,520円	(共同募金配分)

(4) 職員専門委員会

①研修委員会（２回）　②リスクマネジメント委員会（５回）

③防災対策・安全点検委員会（２回）　④サービス向上委員会（２回）

⑤衛生委員会（２回）

6 ホームページ管理・更新

社会福祉法人制度改革に対応した法人情報開示のために、ホームページをリニューアルし、また、インターネットを活用した外部への積極的な情報発信に努めるためフェイスブックとの連携も図りました。

4 社会福祉事業及び社会福祉を目的とする事業【社会福祉拠点】

（１）住民の福祉と地域福祉の推進に関する事業（法人運営事業）所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容

1 心配ごと相談事業

［定例相談］
毎月第３金曜日
（午後1時～3時まで）
場　所：社協相談室

毎月１回、定例の相談日を設け、住民の日常生活における諸種の心配ごとや生活上のあらゆる相談に応じ、生活課題の解決を支援してきました。なお、定例相談以外でも常時、地域包括支援センターや自立相談支援事業等と連携を図り、適切なアドバイスや専門機関へつなぐ役割を行いました。

近年、介護に関する相談が増えているため、専門相談会を含め今後の事業運営の方法を随時検討していきます。

(1) 相談の状況（過去４年比較）

相談件数	28年度	29年度	30年度	31（元）年度
①社協窓口来所	７件	１１件	１０件	１６件
うち定例（一般）相談	５件	０件	２件	３件
②電話相談	４件	２件	４件	３件
合　計	１１件	１３件	１４件	１９件

(2) 定例相談回数　１２回（一般相談）

(3) 相談内容（１回の相談につき主要な項目のみ）

種　別	生計	負債	近所	離婚	財産	介護	その他	合計
全件数	5	1	4	0	1	6	2	１９

(4) 山形県地域包括ケア総合推進センター移動法律相談　６件（９月　６日／社協相談室）

2 生活福祉資金貸付事業
（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

元年度は大学進学のための教育支援資金として１世帯に貸付を行い、安定した自立生活を営むための相談援助を併せて実施しました。

民生委員への情報共有時に相談者との顔つなぎを可能な限り行い、その後の連絡や訪問等、借入後の生活状況の変化を早期に把握できる関係作りを進めました。

（1）貸付状況　（過去４年比較）

年　　度	28年度	29年度	30年度	31（元）年度
相談件数※電話含	１２件	２１件	３２件	２６件
貸付件数（申請）	３件（３件）	３件（３件）	２件（２件）	１件（1件）
内教育支援資金	１件	０件	２件	１件
内緊急小口資金	１件	０件	０件	０件
内福祉資金等	１件	３件	０件	０件
年度内貸付決定額	1,137千円	1,581千円	7,240千円	5,156千円

（2）年度内貸付決定世帯の状況（低所得世帯　１件）

（3）借受件数　４８件（令和2年3月31日現在）

①貸付期間中　４件　　②償還期間中４３件　③償還猶予期間中　１件

3 臨時特例つなぎ資金貸付事業
（山形県社会福祉協議会より一部事務受託）

離職者を支援するための公的給付制度等を申請している住居のない離職者に対して、生活費を迅速に貸付けする制度については、貸付実績はありませんでした。

4 福祉更生資金貸付事業

貸付限度額：５万円以内
貸付期間：６月以内
（無利子・保証人不要）

元年度は、年金生活者への貸付が全体の約７割を占め、年金支給月にあわせて償還するケースが目立っています。フードサポート事業や生活困窮者自立相談支援事業等との連携促進を図りながら無理のない返済計画の作成を心掛けています。令和２年度からは、貸付限度額の増額及び貸付期間延長など要件の一部が見直されることになります。

（1）貸付状況（過去４年比較）

年　　度	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度
①貸付件数	８件	１０件	１３件	１４件
内単身高齢者	１件	３件	５件	６件
内ひとり親世帯	０件	１件	２件	１件
②年度内貸付決定金額	200,000 円	344,000 円	358,000 円	478,000 円

（2）不良債権の状況（令和２年３月 31 日現在）

１年以上償還が滞っているケース	件数	金　　額	長期滞納者への対応
	７件	２７７，０００円	支払督促及び個別指導（随時）

（3）資金管理状況

①年度内不能欠損額　０円

②平成３１年３月３１日現在の資金原資額　１，６６０，０３４円（前期繰越金）

③令和　２年３月３１日現在の資金原資額　１，６６０，０３４円（②－①）

④貸出金総額（令和２年３月 31 日現在）　４９２，１００円（前年比３９，５００円増）

⑤令和　２年３月３１日現在の預金残高　１，１６７，９３４円　（③－④）

5 フードサポート事業
【地域における公益的な取組み】

「生活費がない」「食べるものがない」等の困窮状態にある方に対し、緊急支援として食べ物の無償提供を行うとともに、町民、町内事業所等に対し、食べ物提供の協力について呼びかけを行ってきました。なお、利用実績は年間１９件となり、そのうち繰り返し利用は５世帯でした。

（1）寄付の受け入れ状況（フードサポーター登録）１３件（前年比２件増）

寄付者	寄付のあった日	食品の種類
小松とき子様　（萩　生）	４月　８日	調味料、缶詰等
加藤　富夫様　（添　川）	７月　１日	お米 30kg
伊藤　榮造様　（高　峰）	７月　３日	調味料、油等
伊藤　茂子様　（高　峰）	８月　７日	乾麺、缶詰、お茶等
伊藤　茂子様　（高　峰）	９月１８日	お米 30kg
若山　朗夫様　（小白川）	９月２４日	お米 30kg
伊藤　佐市様　（　椿　）	１０月　９日	お米 30kg
菅野　誠一様　（　中　）	１２月　３日	お茶
いいで美米倶楽部　様	１２月１９日	お米 10kg
山口　　健様　（高　峰）	１２月２６日	お米 30kg・レトルト食品等
匿名希望様　（　椿　）	３月　７日	レトルト飯 150g×11 パック
若山　朗夫様　（小白川）	３月１１日	お米 30kg
鈴木　　忠様　（高　峰）	３月１７日	お米 30kg

（2）利用状況

年　　度	29 年度※10.1 以降	30 年度	31（元）年度
①延利用件数	８件	１９件	１９件
②年度内利用世帯数	７件	１０件	１３件
単身高齢者世帯	２件	５件	３件
単身世帯（高齢者以外）	１件	２件	３件
その他の世帯	４件	６件	４件

6 災害救済金交付事業

元年度は、救済事業の対象となるような罹災はなく経過しました。

7 レクリエーション用具貸出事業【地域における公益的な取組み】

法人が貸出用として所有しているレクリエーション用具の貸し出しを通じて、サロンや町内グループにおける交流活動や余暇活動を支援してきました。

①貸出件数：　１９件（前年比　４件増）

8 車椅子貸出事業
【地域における公益的な取組み】

障がい者の外出支援や病気等によって一時的に車椅子が必要となった世帯に対し無料で貸し出しを行ってきました。なお、貸出件数の増加及び固定化に伴い、令和２年度からは、貸出期間が３ケ月から１ケ月に短縮されるなど要件の一部が見直されることになります。

①貸出件数：　３２件（前年比　３件増）

9 集落ワークショップの開催【11 年次】

モデル集落において、地域福祉推進委員、民生委員等の協力を得て生活課題に関する話し合いを行い、地元の資源や高齢者の知識や経験を活かしながら、集落の魅力を活かしたアクションプランづくりを進めてきました。

集　落	第１回	第２回
①財津堂自治会（　椿　）	１１月２６日	１２月１８日

10 集落活動事例集”笑顔咲く元快集楽”の制作
【2 年次】

１０年間にわたって実施された集落ワークショップなどの取り組みの足跡をたどりながら、社協と住民同士のつながりから生まれた支え合いの活動や高齢者の知識や経験を生かした地域を豊かにする活動、さらには、いきいきサロンなどの集落での集まりにおいて気軽に取り入れることができる楽しい活動を地域のリーダーなどに広く紹介していくためのブックレットが完成しました。

（1）構成内容　Ａ５判（全１０７頁）編集　３００部

①第一章/「集落ワークショップ」１０年の足跡

②第二章/集落活動事例－集落の持つ力と高齢者の知恵袋－

③第三章/資料編

11 中学校同級会支援事業

若者の地元への定住及び出会いの場を築いていくための一助として中学校同級会の定期開催を勧奨し、若い世代に対して郷土への愛着や理解づくりを行いました。

①新成人への情報提供

成人式実行委員会（２５年度卒業生）に対し、成人式以降の定期同級会の開催を呼びかけ

②中学校卒業生に同級会開催予告メッセージ交付（飯豊中：６３名）

12 福祉に関する人材育成及び情報支援

福祉に関する資格取得のための助言及び山形県福祉人材センターが発行する求人情報の窓口閲覧を行い、介護の仕事について情報提供を行いました。

13 ボランティア活動への支援

活動時の万が一のケガに備え、ボランティア活動保険の普及を行い、町社協にボランティア登録している団体等に保険料の半額助成を行いました。

①ボランティア保険取扱件数

２０団体／３９３名※全て基本タイプＡプランに加入

14 防災・災害時の支え合い活動の構築

住民の防災意識の向上と災害時の支え合いについての「関心」を高め、いざという時にきちんと「互いに支え合い」「行動できる」ための取り組みを進めてきました。

①法人内の災害時対応に係る検討会　１回

15 いのちのバトン設置普及事業
（飯豊町一部委託）

前年度に引き続き、単身高齢者世帯を主な対象として、「気になる世帯」を特定し、行政及び民生委員との連携により、普及設置又は情報更新を進めてきました。

①新規(年間)設置件数　１９件　　②合計設置件数　３６５件

16 成年後見に関する相談と法人後見事業の検討

置賜定住自立圏構想に係る成年後見支援の体制整備について、本町における成年後見制度の利用促進を念頭に、飯豊町地域包括支援センターと検討を行いました。権利擁護ニーズを抱えた世帯及び在宅介護者等に対して必要な相談及び情報提供を行いました。

	①後見に関する普及啓発（１２月７日／在宅介護者の集い） ②後見に関する相談調整（申し立てに関する助言：３件） ③親族後見人への支援　（裁判所への提出書類の作成補助：１件）
17 次世代育成・住民の福祉教育の推進	児童等を主体とした体験学習等への協力を行い、福祉のこころを育むための「学び」の大切さを地域の子供達に伝えてきました。 ①職場体験　中学生　２名受入　　②児童と施設利用者との交流　２件
18 生活事故防止・暮らしの安心・安全のための啓発活動	交通事故や雪害事故防止に向けた啓発活動を関係する福祉団体やヘルパー訪問世帯、その他要援護世帯に対して情報を発信し注意喚起しました。
19 おしどり金婚さん記念品贈呈事業	山形新聞社が主催する「おしどり金婚さん顕彰事業」の趣旨に賛同し、令和元年度に金婚式を迎えられたご夫婦に対し記念品を贈呈し祝福しました。 ①該当夫婦：１０組　　②贈呈式：１０月１８日（町民総合センターあ～す）
20 第１次地域福祉活動計画の推進及び進行管理（5年次:最終年度）	第１次地域福祉活動計画のスローガン「ひとり一人の生に光をあて　幸せを実感できる暮らしづくり」が実現できたかについて振り返り、次期計画策定に役立てていくために項目ごとに評価を行いました。

（２）緊急通報装置運用事業　　所管：総合福祉管理室

1 緊急通報装置見守り支援システム運用事業（飯豊町受託）

単身高齢者を中心とした利用者の安心、安全を支える事業について、システムの老朽化により新しいサービスに移行するため、９月をもって受託を終了しました。

（1）緊急通報装置見守り支援システムの運用

設置件数	緊急アラート受信状況	対処内訳
（令和元年９月３０日現在） ２２件	（平成３１年４月１日～令和元年９月３０日） ０件	＜緊急＞救急車両要請件数：　０件 ＜誤報＞安否確認による対処：０件 ＜その他＞連絡調整：　０件

（2）緊急通報装置見守り支援システムの適正な運用及び緊急時対応マニュアルの整備（改正１回）

（3）緊急通報受信及び協力員、町及び関係機関等への連絡

①利用者の経過記録及び業務連絡　　１件（前年比　５件減）

②電池残量（不足）通知受信状況　　４件（前年比　９件増）

（4）お元気コール延べコール回数　（半年）７４回

（３）福祉サービス利用援助事業　　所管：総合福祉管理室

1 福祉サービス利用援助事業（山形県社会福祉協議会受託）

基幹的社協／専門員・生活支援員（各１名配置）

権利擁護分野のケースワークにおける中心的な事業として、社会保障制度へのつなぎ役、さらには成年後見制度を補完するという役割を果たしてきました。

成年後見制度利用が望ましい現契約者を移行していくことにより、新規契約の受け入れ体制を整えていくことが課題です。

（1）援助の状況

①利用に関する相談件数	８９件（前年比１５件増）
②延べ支援回数	年間６０回提供　（前年比２４回減）

（2）利用者の状況（過去４年比較）

年度		31（元）年度	30年度	29年度	28年度
利用実人数（3月31日現在）		5件	5件	7件	6件
年度内	内新規契約者	0件	0件	2件	1件
	内契約待機者	0件	0件	0件	0件
	内成年後見移行者	0件	0件	0件	0件
	内契約解除者（上記除く）	0件	2件	1件	0件
態様	認知症高齢者	1件	1件	3件	1件
	知的障がい者	3件	3件	3件	4件
	精神障がい者	1件	1件	1件	1件

（４）共同募金配分金事業　　所管：総合福祉管理室

■配分区分１－平成３０年度共同募金による市町村配分事業－

項目	内容
1 単身高齢者のための会食サービス事業【老人福祉活動費】	要介護状態にない概ね７５歳以上の単身高齢者を対象に、ふれあいの場の提供を通じて、孤立感の解消に繋げていくための会食会をボランティアの協力を得て実施しました。 （1）実施状況 ①実施回数：１１回（前年比１回減）②延利用者数　：１４５名（前年比１名増） ③会食サービス事業に係る情報交換会（１月２２日／４団体代表者） （2）調理ボランティアの状況

４月		８月	萩生むつみ会	12月	町婦人会
５月	中津川民協	９月	町婦人会	１月	民生委員（女性委員）
６月	町西ゆりの会	10月		２月	食生活改善推進員
７月	民生委員（女性委員）	11月	食生活改善推進員	３月	－

※新型コロナウィルス感染症予防対策のため３月は活動自粛

2 ふれあいグラウンドゴルフ大会開催事業【老人福祉活動費】	高齢者の健康づくりを推進し、地元の民間福祉活動をみんなで応援していくためにチャリティイベントとして第１０回大会を競技団体の協力を得て実施しました。 ①期日：１０月８日（黒沢スワンパーク）②参加者：６０名（前回より１１名増） ③共催・競技主管団体：　町老人クラブ連合会・町グラウンドゴルフ協会
3 在宅介護者の集い開催事業【老人福祉活動費】	在宅において配偶者や親の介護をしている方々同士の情報交換を行いながら「仲間づくり」と「息抜き」をしてもらう場として開催しました。 ①期日：１２月　７日（いいで旅館）　②参加者：６名　（前年比１３名減）
4 子育てサロン活動育成支援事業【児童・青少年福祉活動費】	町内の母親たちが主体となり自主的に活動を続けている育児サークルに対し活動支援を行いました。 ①キッズワールド　（１４年目）　　②年間活動回数：　９回
5 福祉の心推進事業【児童・青少年福祉活動費】	祖父母に対する日頃の想いや感謝の気持ちを絵手紙に込め、敬老の日に贈ることにより、小学生に豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的とした「第９回おじいちゃん、おばあちゃんへの絵手紙コンテスト」を町老連とともに主催しました。 ①募集対象：飯豊町内小学校に在学する児童 ②募集期間：７月２６日～　８月２３日まで ③応募総数：３２７編（低学年１６８編・高学年１５９編） ④審査委員会：令和元年９月３日（審査委員８名） 最優秀賞（低・高学年各１編）・優秀賞（低・高学年各２編）ほか決定 ⑤後援団体：飯豊町／飯豊町教育委員会／飯豊町民生委員児童委員協議会／飯豊町ＰＴＡ連絡協議会
6 小地域見守り活動支援事業【福祉育成援助活動費】	主に地域住民が抱える様々な「生活課題」を専門機関に橋渡しする役割等を担う地域福祉推進委員に対して、地域福祉活動を効果的に推進することができるよう日常的に連携を深め、気になる世帯の早期把握や住民同士のつながり構築に向けてご協力いただきました。 ①地域福祉推進委員　　町内：７１名
7 社協だより「しあわせ」の発行【福祉育成援助活動費】	住民の福祉への関心を高めるための情報を掲載した機関誌を年２回発行しました。また、地元企業等から広告協賛をいただきながら紙面の充実に努めました。 （1）発行部数　①第１２７号（８月　８日発行）：２，４００部 ②第１２８号（１月３０日発行）：２，４００部 （2）広告協賛　①協賛件数　２１社（10千円広告：10枠　／5千円広告：11枠）
8 住民互助型ふれあいいきいきサロン活動育成支援事業【福祉育成援助活動費】	社協が支援する「ふれあい・いきいきサロン」は、町内１７ヶ所で行われ、住民同士の支え合いの場だけでなく、介護予防、生きがいづくり、生活課題への気づき、さらには、福祉活動のリーダー養成など様々な福祉的効果を生み出しています。 本会による支援として、活動費の助成に加え、出前講座等の講師の調整、レクリエーション用具の貸出し、また、サロン運営をリードする人材をフォローし、既存サロンの更なる活動の発展を支えています。 （1）町社協が支援する高齢者サロンの活動状況

団体名（継続年数）	年間回数	団体名（継続年数）	年間回数
①東山あけぼの会　（１７）	４３	②下椿いきいきクラブ（１７）	１４
③小原ほのぼの会　（１７）	１１	④椿第一いきいきサロン（１６）	６０

⑤荻いきいきクラブ　（１６）	４７	⑥高野寺分いきいきクラブ（１４）	４９
⑦向原いきいきクラブ（１３）	４５	⑧沖いきいきクラブ　（９）	６
⑨吉長いきいきサロン　（８）	８	⑩坪沼いきいきサロン　（８）	４５
⑪大旦いきいきサロン　（７）	７	⑫中郷さくら会　（７）	５
⑬辻いきいきクラブ　（６）	８	⑭上郷いきいきクラブ　（６）	４
⑮中洞いきいきクラブ　（６）	４９	⑯ゆいの里たかみねサロン（５）	３４
⑰中ノ目北いきいきクラブ　（２）	４０		

（2）ふれあい・いきいきサロン運営担当者経験交流会“広げようサロンの輪サミット”の開催
①開催日：　１１月２５日／いいで旅館　（参加者２５名）

9 町内福祉団体が行う福祉活動への助成	地域福祉の推進を図るために福祉関係団体が行う活動に対し助成を行いました。 ①老人クラブが行う地域支え合い事業　（飯豊町老人クラブ連合会） ②身体障がい者機能回復訓練事業　（飯豊町身体障がい者福祉協会） ③ＮＰＯが行う育児サポート事業（特定非営利活動法人ほっと）

■配分区分２－平成３０年度共同募金による地域福祉・在宅福祉事業－

項　　目	内　　容
1 地域福祉活動計画策定のための調査研究事業	全５回の委員会開催を通じ、町の地域福祉計画の実現に向けて大きな足掛かりとなる福祉活動を展望することができました。各種調査活動においては、住民による福祉活動と社会福祉事業者とが、いかに協力し合い「共に生きるを実践し、信頼・安心・生きがいのある地域」を作り上げていくかを説き、住民が抱えている福祉課題やこれからの地域福祉を推進するための目標について意識共有が図られました。 （1）会議等 ①第１回　地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会(健康福祉センター) （令和元年　８月２６日　　委員１０名/アドバイザー１名） ②第２回　地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（健康福祉センター） （令和元年１１月　１日　　委員　７名/アドバイザー１名） ③第３回　地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（健康福祉センター） （令和元年１２月２０日　　委員　７名/アドバイザー１名） ④第４回　地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（社会福祉協議会） （令和２年　１月２４日　　委員　７名/アドバイザー１名） ⑤第５回　地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（いいで旅館） （令和２年　２月２１日　　委員　９名/アドバイザー１名） （2）主な調査研究の内容 ①強化項目に対する住民の「課題・困りの声」に関する調査 （令和元年９月～１１月/　対象:委員、福祉関係団体、福祉活動従事者等） ②高齢者の通いの場の在り方に関する意見交換 （令和元年１１月２５日/対象:いきいきサロン活動実施団体担当者） ③地域における公益的な取り組みに関する意見交換会 （令和元年１１月２９日/町内社会福祉法人の代表者）
2 高齢者のための居場所研究事業新規	全国的に地域の茶の間づくりが盛んに進められ、高齢者の居場所の開発が行われている中で、本町における居場所のあり方や展開方法について、萩生地区の「いっぷぐあが家」をモデルとして研究活動が行われたことで他地区への波及効果も見られました。 （1）研究調査項目 ①高齢者のくらしの足の確保　　②ゲスト出演・イベント方式の展開 ③いきいき百歳体操の効果　　④高齢者に優しい「食」の提供 ⑤居場所がもたらす高齢者の安心感と幸福感 （2）協力機関・団体　（地域包括支援センター、婦人会、歯科衛生士会等）

■配分区分３－平成３０年度共同募金による特別事業－

項　　目	内　　容
1 認知症カフェ開設等事業新規	認知症の人及びその家族等が気軽に集える居場所を確保し、多様な福祉活動が展開できる環境を構築することで住民同士の交流を図っていくため、３０年１２月に共同募金に寄せられた高額寄附を活用させていただき、福祉の里めざみのロビー改修を行いました。 （1）フリースペース設置日（９月１７日完成） （2）イベント等活動状況 ①認知症カフェ開催（２月５日）参加者５名 ※新型コロナウィルス感染症予防対策のため活動自粛 （3）日常的な活用状況 ①生活課題がある方の居場所　　②社協関係利用者の待合所 ③筋トレ教室利用者の休憩スペース　④打ち合わせ、相談スペース等

■配分区分４－平成３０年度共同募金による地域福祉活動車両整備事業－

項　　目	内　　容
1 地域福祉活動車両の購入【共同募金 70 周年記念事業】	町内の地域の居場所づくり及びサロン活動の育成支援等を実施するために共同募金７０周年の記念事業として地域福祉活動車両の整備事業に取り組みました。 （生産台数の都合により車両の納車は、令和２年夏を予定しています） ①購入車両　１台（スズキ　ジムニー） ②購入価格　１,５５９,５２０円（内配分助成１,０００,０００円）

■配分区分５－令和元年度地域歳末たすけあい配分事業－

項　　目	内　　容
1 経済的支援を必要とする世帯への商品券進呈事業【在宅配分】	困窮していると認められる世帯の暮らしを支援するために民生委員と連携し、町商工会が発行する商品券をお届けしました。 ※配分審査委員会（１２月１８日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） 〔配分世帯〕全８６件　（前年比５件減） ①継続的支援が必要な世帯　６７件　８,０００円相当の商品券 ②生活保護に準ずる世帯　１２件　１１,０００円相当の商品券 ③民生委員が必要と認める世帯【一時的に支援が必要な世帯】　７件　８,０００円相当の商品券
2 単身高齢者等を対象とした歳末見守り訪問事業【地域福祉活動配分】	日常的な支援や見守りが必要と思われる概ね７０歳以上の単身高齢者等を対象に歳末時期に民生委員が一斉に安否確認を行いました。 ※配分審査委員会（１２月１８日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） ①配分世帯：１４１世帯　（前年比７件減）
3 要保護・準要保護認定児童激励支援事業【地域福祉活動配分】	要保護・準要保護認定児童を対象として援助活動を強化していくことを目的として１児童につき３,０００円分の図書カードを贈りました。 ※配分審査委員会（１２月１８日）／民生委員による戸別配分（１２月２５日） ①対象児童数：　２５件　（前年比５件増）
4 ボランティアによる単身高齢者世帯への福祉年賀状作成事業【地域福祉活動配分】	町内に居住する単身高齢者及び軽費老人ホーム（ケアハウス）入所者に対して特定非営利活動法人ほっとのメンバーが、手作り年賀状の作成に取り組みました。 ※配分審査委員会（１２月１８日） ①作成枚数：　１７７件

（５）福祉団体が行う活動への支援　（事務局担当）　所管:総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 飯豊町民生委員児童委員協議会（会長　伊藤　佐市）	地域における身近な福祉の担い手として活躍する民生委員児童委員に対し協議会の運営並びに必要な支援と情報提供を行ってきました。 １２月の一斉改選により、１４名の方が任期を終え退任されました。 ①民生委員児童委員　３６名　　②主任児童委員　２名
2 飯豊町老人クラブ連合会（会長　米野　彌壽男）	高齢者が健康づくり活動や友愛活動を通して心豊かな地域社会の実現を目指し、老人クラブ活動の充実を図るために必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①単位老人クラブ数　１１クラブ ②会員数　５６１名（前年同月比　３名増）　※３月３１日現在
3 飯豊町ゲートボール連合会（会長　髙橋　忠雄）	町内のゲートボール競技団体に対し必要な支援を行ってきました。大会プログラム等の作成を会員が担うようになったことで事務の負担は軽減しています。 ①支部数　６支部　　②会員数　４２名(前年同月比３名減)　※3月31日現在
4 飯豊町身体障がい者福祉協会（会長　舟山　貞夫）	身体に障がいをもつ方による自立更生のための当事者組織として活発な社会参加活動が推進できるよう必要な支援と情報提供を行ってきました。 ①手帳所持者４７３名　②会員数　８３名(前年同月比７名減)※3月31日現在

5 飯豊町戦没者慰霊祭実行委員会 （会長　木村　勝男）	戦没者の方々の御霊を慰めるため、遺族会が中心となって挙行する慰霊祭の事務を担ってきました。 ①実行委員会（５月１３日）　②戦没者慰霊祭（６月１９日）
6 山形県共同募金会 飯豊町共同募金委員会	共同募金に係る執行業務及び募金管理事務を県共同募金会の指導をもとに行ってきました。
7 飯豊町椿地区公共施設防災対策協議会	周辺の公共施設における災害発生時の連係を確認し合うとともに利用者の安全を確保するために必要な検討を行ってきました。 ①隣接施設からの火災を想定した合同防災訓練を実施（10月16日/椿地区あ～す近郊）

5　介護保険及び障がい福祉サービスに関する事業【介護拠点】

（介護サービス及び介護予防サービス、地域支援事業等）

（１）高齢者介護予防事業　　所管：総合福祉管理室・ふれあい介護支援室

項　目	内　容
1 地域介護予防事業 （飯豊町受託）	サポーターの平均年齢が高くなりつつある中、サポート体制に不安が生じていることは小屋だけの問題ではなく、来年度から中部地区と小屋地区との活動単位の統合調整がスムーズに行われたことは他地区に与える影響も大きいと捉えられます。 ①サポーター数：　１０名　　②送迎ボランティア：１０名 ③実利用者：４３名(前年比９名減)　　④実施回数　：１０３回 ⑤延利用者数：７２０名　(前年比１８３名減)

地　区	利用者実人数	年間利用延人数	回数	1回当たりの平均利用者
白　川	９人	１５９人	２２回	７.２人
川内戸	７人	１１８人	２２回	５.４人
岩　倉	１０人	１７１人	２２回	７.８人
小　屋	４人	５０人	１５回	３.３人
中　部	１３人	２２２人	２２回	１０.１人

項　目	内　容
2 介護予防支援事業 （飯豊町受託）	□事業概要：町の地域支援事業及び健康いいで２１に基づき、高齢社会における生活自立度の向上と健康寿命の延伸を基本目標に、常時指導員を配置し、トレーニングマシン等を使用した筋トレ有酸素運動等の提供及び指導を飯豊町地域包括支援センターから委託を受けて行っています。

31（元）年度の目標	①トレーニングマシンの増設、リニューアルにあわせ、開放日を週４日から６日に拡大し、充実した提供体制により更なる介護予防の推進と元気な高齢者の育成に寄与していきます。 ②個別データ管理及びトレーニング結果の評価などを可能にする新機能を追加し、サービスの向上を図ります。
31（元）年度の実績	①リニューアルオープン式典の様子が新聞等に掲載されたことで多くの方々から注目が集まりました。（４月２日） ②個別のデータ管理スティックの導入により、効果的にトレーニングに活かせるシステムが構築されました。
主な成果	冬期間は、例年になく積雪量が少なかったため年間を通して安定した利用者数が確保できました。
主な課題	①男性の利用者がまだまだ少ないので利用につながるアプローチを進めていきます。 ②新型コロナウィルスなどの感染症予防について今後も対策が必要となっています。（三密の回避等） ③土曜日の解放において、事務所が無人状態になるため、セキュリティ上の問題が浮上しています。

□らくらく筋トレ教室の事業業績

①年間延利用者数	目標／　５,０００人	実績／　３,１０４人	
②年間新規登録	目標／　５０人	実績／　４６人	

【参考】利用者の状況　(件)

項　目	28年度	29年度	30年度	31（元）年度
①年度内新規登録（登録者数）	26人(380人)	26人(406人)	17人(423人)	46人(124人)
②延べ利用者数	2,804人	2,715人	2,166人	3,104人
③稼働日数	195日	205日	180日	268日
④1日当たり平均利用者	14.3人	13.2人	12.0人	11.6人

※新型コロナウィルス感染症予防対策のため３月２日～末日まで休業。

（２）生活支援体制整備事業　　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容
1 地域支え合い推進員配置事業（飯豊町受託）	日常生活上の支援が必要になっても住み慣れた地域で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる地域づくりを目指しながら、「住民が主体」となった支え合い活動の取り組みを推進してきました。また、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するための援助に加え、分野の枠を超え、あらゆる地域資源との連携を図りながら「地域のお宝情報誌」の作成を行いました。 【主な業務内容】 ① 新たな居場所の立ち上げに向けた支援（みんなこ家:11 月 28 日オープン） ② 居場所の運営支援（いっぷぐあが家　３２回・みんなこ家　７回） ③ 生活支援コーディネーターの資質向上に関する研修会への参加（５回） ④「あしすと第３号」の発行（４月） ⑤ 飯豊町生活支援・介護予防サービス推進協議会への参加（３月） ⑥ 飯豊町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定への協力 ⑦ 飯豊町「地域のお宝情報誌」の発行 ⑧ 集落活動事例集「笑顔咲く元快集楽」の編集協力

（３）居宅介護支援事業【ケアマネジメント】　　所管：地域生活支援室・医療健康室

項　目	内　容
1 居宅介護支援事業 （介護保険指定居宅介護支援事業者） 【対象：要介護１～５】	□事業概要：要介護者及び要支援者が、必要な介護サービスを適切に利用し、できる限り自立した生活が行えるようケアマネジャーが本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプランを作成し、サービス事業者と連絡調整等を行います。この内、要支援者(予防給付対象者)に対し「介護予防サービス計画」を作成する業務は飯豊町地域包括支援センターから委託を受けて行っています。

［料金関係］02.3現在

区分	料　金
要介護1・2	14,570円/月
要介護3～5	17,730円/月

※特定事業所加算（Ⅱ）
4,000円含
（注）初回加算3,000円別途

31（元）年度の目標	多機関連携を強化し、自立支援や望む生活の実現に向けて協働していきます。
31（元）年度の実績	より自立した生活、望む生活が実現できるよう多職種と連携し、また、研修や同事業所内での相談の時間を設けながら業務に携わってきました。
結果評価	①地域ケア会議への事例提出及び参加を通じ、多職種との情報交換や意見をいただくことでアセスメント力が向上し、より自立支援に向けたプラン作成につなげることができました。 ②研修や相談の時間を確保することで、所内の共通認識、課題の解決につなげることができました。
主な課題（今後の方針等）	①一人ひとりのご利用者様、ご家族の方に真摯に向き合い、新規契約の増加につなげます。 ②社会資源の確立に向け、地域ケア会議への出席、地域包括支援センターとの更なる協働に努めます。 ③地域包括支援センターや医療機関等と連携し、利用者確保を図りながら、収集した情報を内部事業所にフィードバックし、業務改善につなげます。

2 介護予防ケアマネジメント業務（第１号介護予防支援事業）
（飯豊町地域包括支援センター受託）
【対象：要支援１及び２】

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

(1)居宅介護支援事業

①年間延利用者数	９２７人（前年比６９人減）	
②月平均利用者数	目標／　８３人	実績／　７７.３人
③収入額	１４,６１４千円(前年比６８千円減)	

［対象者］要支援１及び２
［単価］月額 4,310 円
（初回＋3,000 円）
※住宅改修支援＋2,000 円

④実利用者数	６９人※令和２年３月現在（前年比１１人減）

(2) 介護予防支援事業の受託

①年間延利用者数	４１４人（前年比１２９人増）	
②月平均利用者数	目標／　２５人	実績／　３４.５人
③収入額	１，８５１千円（前年比５４７千円増）	
④実利用者数	３５人※令和２年３月現在（前年比７人増）	

【参考】ケアプラン及び予防プラン作成件数　(件)

項　目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度
介　護	1,060	1,066	1,014	996	927
予　防	153	221	261	285	414
合　計	1,213	1,287	1,275	1,281	1,341

3 家族介護支援事業
（飯豊町受託）

町からの委託を受けて、家庭介護者の相談及び介護に関する知識、技術の習得のための教室を６回実施したほか、介護者の心身のリフレッシュを図るため、町内の温泉施設において無料で入浴、食事ができる共通リフレッシュ券の進呈を通じて家族介護支援を実施しました。

(1) 家族介護教室事業

期日・場所（参加者数）	内　容
令和元年　７月２５日 町健康福祉センター（９名）	「熱中症予防に関する講座～水分補給と栄養～」 講師：：大塚製薬（株）
令和元年　９月１８日 町健康福祉センター（４名）	「要介護者の口腔ケア～正しいケアの仕方～」 講師：山形県歯科衛生士会　歯科衛生士
令和元年１０月２８日 町健康福祉センター（６名）	「認知症の方への理解を深めよう～正しい接し方・間違った接し方」 講師：佐藤病院認知症疾患医療センター　精神保健福祉士
令和元年１２月　７日 いいで旅館　（６名）	「安心して老いを迎えるための準備として」 講師：柴田社会福祉士事務所代表 「家族介護者のための豆知識」飯豊町社会福祉協議会
令和２年　１月２１日 町健康福祉センター（７名）	「我が家流！今日をいい日にする暮らしのレシピ」 講師：一般社団法人ゆにしあ　管理栄養士
令和２年　２月１４日 町健康福祉センター（９名）	「ご家族の認知症とうまく向き合うために」 講師：あしすけったーず山形

(2) 家族介護者交流事業（リフレッシュ券進呈）
①配布件数：　１９５件（町内で要介護１以上の方を介護している家族）
②利用件数：　５１件（いいで旅館１２件・しらさぎ荘３６件・白川荘３件）

（４）居宅介護等事業【ホームヘルプ】　所管：地域生活支援室・医療健康室

項　目	内　容

1 訪問介護事業
（介護保険指定居宅サービス事業者）
【対象：要介護１～５】
営業時間：7:00～21:00
※12 月 29 日～1 月 3 日は休み
［料金関係］02.3 現在
特定事業所加算（Ⅱ）含み
［基本料金１０％］

区分	身体介護	加算関係
２０分～３０分未満	2,740 円	早朝（6~8時）夜間(18~22時) 25%加算 初回加算2000円 緊急時訪問 1,000 円 処遇改善加算 13.7%（訪問型13.7%）
３０分～６０分未満	4,350 円	
６０分～９０分未満	6,350 円	
９０分～（３０分単位）	830 円	

□事業概要：介護福祉士等の専門資格を有するホームヘルパーが介護の必要な人の自宅を訪問し、排泄、入浴介助等の身体介護や調理、掃除等の生活援助サービスを提供します。家族介護をカバーし、利用者本人の自立をできる限り支援することで、利用者及び家族の家庭生活を支えるとともに、介護に限らない利用者周辺の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、利用世帯の地域生活を支援していくことが目的です。

31（元）年度の目標	①ご利用者様の想いに寄り添い、笑顔になっていただける提供を目指す。 ②訪問介護員自身が成長する喜びを感じ仕事に取り組む。 ③他職種と連携を密にし、協力し合える関係づくりを進める。
31（元）年度の実績	①ご利用者様とご家族様の生活を第一に考えて、いま必要なサービス内容についての提案に努めました。 ②月１回の研修に外部講師を依頼したことで、より専門的な知識を得ることができました。 ③積極的な情報交換に努めたことで、より一層の協力体制を築くことができました。
結果評価	①ご利用者様の状態変化やニーズ変化をいち早く察知して、サービス内容変更のアドバイス等に努めたことにより、大きな変化なく日常生活を送っていただくことができました。 ②同一事業所内でのご利用者様に関する情報共有に心がけ、同じ視点を持ち一体的なサービス提供ができました。 ③事業所以外の関係機関への情報提供、連携を積極的に実施し、月ごとに所内の連携状況の把握を行いました。
主な課題（今後の方針等）	引き続き新規利用者の獲得に努めながら、一人一人のご利用者様と丁寧に向き合うことで、利用頻度の増につなげていきます。 ヘルパー業務の魅力を伝える取り組みとして、ホームページへの掲載を広げていきます。

2 訪問型サービス（介護予防訪問介護相当サービス）事業
（飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定）
【対象：要支援１及び２】
営業時間：8:00～17:00
※12 月 29 日～1 月 3 日は休み
［料金関係］02.3 現在

区分	月額
週１回程度	１１,７２０円
週２回程度	２３,４２０円
週３回程度	３７,１５０円

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数(訪問型サ含)	３,４１５回（前年比　２５３回増）	
②月平均利用回数(訪問型サ含)	目標／　２２０回	実績／　２８４.６回
③年間延提供時間(訪問型サ含)	２,２０５時間１９分（前年比３２時間２５分増）	
④収入額(訪問型サ含) ※保険請求額	１１,２６３千円（前年比　８５２千円増）	
内介護職員処遇改善加算額	１,４６７千円（前年比　７７千円増）	
⑤実利用者数(訪問型サ含)	３０人※令和２年３月現在（前年比　４人減）	
⑥総合事業比率（利用者）	全体の　１４.７％（前年比２.１％増）	

【参考】訪問介護サービス提供時間数　(時間)

項　目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度
介護・予防計	3,727	3,524	2,734	2,172	2,205

3 安心生きがい訪問事業
（飯豊町受託）
［対象者］概ね65歳以上で介護保険等のサービス給付を受けてない高齢者等
［単価］月額 11,680 円／件

日常的に社会生活に適応が困難とされる高齢者に対し、定期的に指導員（訪問介護員）を派遣し、健康観察及び暮らしに関する異変の察知等の支援を行いました。なお、１利用者につき原則、月２回（２週間に１回）の訪問とし、訪問が組まれていない週は「お元気コール」を提供し見守り機能の強化を図りました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用者数	３５６人（前年比　２５人増）	
②収入額	４,１５８千円（前年比２９２千円増）	
③月平均利用人数	見込／　３０人	実績／　２９.７人

4 訪問自費介護サービス
営業：7:00～21:00※12 月 29 日～1 月 3 日は休み
［料金］※早朝・夜間割増有
30 分以上 45 分未満 1,800 円
45 分以上 60 分未満 2,400 円

介護保険制度の対象にならないサービス需要に対応するため利用者との契約行為により外出支援、通院介助を中心とした介護サービスを提供してきました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	１１３回（前年比　７回減）	
②年間延提供時間数	２４４時間１９分（前年比　２２時間１４分増）	
③収入額	４６５千円（前年比　１千円増）	
④月平均利用人数	目標／　５人	実績／　６.２人

5 居宅介護事業
（障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者）
［対象者］身体、知的、精神障がい者及び障がい児
［営業日］月～金曜/7:00～21:00　※12 月 29 日～1 月 3 日を除く

障がいがあっても可能な限り自立して生活を営むことができるよう本人にとって必要な介護及びそれに付随する生活援助を提供しました。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延提供回数	５７５回（前年比　７４回減）		
②年間延提供時間数	家事援助	３８０時間（前年比　７４.５時間減）	
	身体介助	１５２時間（前年比　１９.５時間増）	
③収入額（給付費）	２,０４６千円（前年比　５千円減）		
内福祉・介護職員処遇改善加算額	４６４千円（前年比　５１千円減）		
④延利用回数（月平均）	目標／　４６回	実績／　４７.９回	

6 福祉有償運送サービス事業
［対象者］
要介護者及び障がい者等
［料金］300 円～km 数毎設定
［営業日］月～金曜/8:30～17:15※12 月 29 日～1 月 3 日を除く

単独で公共交通機関を利用することが困難な移動制約者の通院等の交通手段を確保するための福祉有償運送は、訪問自費介護と併用した定期利用ニーズの拡大によって運送回数は大幅増となりました。利用対象は、マンパワーの問題等から主に現社協・介護サービス利用者等に限定した提供となっています。

□利用状況

①年間運送回数	１７５回（前年比５回減）
②対価収入	１５６千円（前年比１０千円増）
③対価キロ	１２９７.６km（前年比８４km 増）
④会員（運送対象者）数	１４人※令和 2.3 月現在（前年比１人減）

（５－①）通所介護事業【デイサービス】　所管：ふれあい介護支援室・医療健康室

項　目	内　容

1 地域密着型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者）及び通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）事業（飯豊町介護予防・日常生活支援総合事業第１号事業者指定）

営業日：日曜・年始5日を除く日
定員：18名
提供時間原則9：00～16：30
［料金関係］02.3現在

区分	月　額
要支援１	１６,５５０円
要支援２	３３,９３０円

区　分	所要時間 7～8 時間／日
要介護１	7,３９０円
要介護２	8,７３０円
要介護３	１０,１２０円
要介護４	１１,５００円
要介護５	１２,８８０円

［加算（減算）料金］
①入浴介助加算　50 円（回）
②中重度者ケア体制加算 45 円（回）
③個別機能訓練加算Ⅰ 46 円（回）
④サービス提供加算Ⅱ 6 円（回）
（支援 1/24 円　支援 2/48 円）
⑤送迎減算（片道）　-47 円（回）
⑥介護職員処遇改善加算 5.9%

2 認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型サービス事業者）及び介護予防認知症対応型通所介護事業（介護保険指定地域密着型介護予防サービス事業者）

営業日：日曜・年始5日を除く日
定員：12名
提供時間：原則9：00～16：30
［料金関係］02.3現在

区分	所要時間 7～8 時間／日
要支援１	8,５６０円
要支援２	9,５６０円

区分	所要時間 7～8 時間／日
要介護１	9,８９０円
要介護２	１０,９７０円
要介護３	１２,０４０円
要介護４	１３,１２０円
要介護５	１４,２００円

①入浴介助加算　50 円（回）
②サービス提供加算Ⅱ 6 円（回）
（支援 1/24 円　支援 2/48 円）
③送迎減算（片道）　-47 円（回）
④介護職員処遇改善加算 10.4%

□事業概要：要介護者及び要支援者を自宅まで送迎し、昼食、入浴、機能訓練及びレクリエーション等日中のサービスを提供します。家族介護者の負担軽減のみならず、利用者本人が日中を有意義に過ごすことで、デイサービス利用時間に関わらず、自宅における生活機能やＱＯＬを維持向上させることが目的です。なお、町内において通所介護（デイサービス）を提供している事業所の中で、認知症対応のサービスを提供しているところは本事業所のみとなります。

31（元）年度の目標	①「バランスのとれたチームづくり」を目標とし、ご利用者やご家族の皆様が地域で安心して過ごしていただけるよう取り組みます。 ②全体で行う体操やリハビリ運動に加え、大きな声で歌う楽しさも実感して頂けるよう、個々に合ったレクリエーションの提供に努めます。 ③環境衛生面において、感染症対策の重要性を認識し、感染症を未然に防げるようにします。 ④介護支援専門員へ担当のご利用者様の様子を適宜連絡し、積極的に連携を図ります。
31（元）年度の実績	①バランスのとれたチームづくりについては、４月から提供時間延長により、目標達成には至りませんでした。 ②飯豊町指定の介護予防体操に取り組み、ご利用者様の筋力の維持に努めることができました。 ③居宅介護支援事業所へ毎月のご利用者の状況報告書の提出やその都度こまめに連絡することにより、ご利用者の状態把握と提供内容の調整を行うことができました。 ④指定地域密着型通所介護における運営推進会議を年２回開催しました。（令和元年１０月１７日・令和２年３月２６日）
結果評価	①レクリエーションや余暇活動については、準備不足もあり思うような取り組みが出来ませんでした。 ②新型コロナウィルス感染症予防に対して、職員の感染症対策の意識も高くなり、看護職員、安全衛生委員会を中心とし、しっかりとした対策がとれるようになりました。
主な課題（今後の方針等）	①人員の適正数の配置や時間の使い方等を改善していきます。 ②各種届出等の手続きを遅延なく進めていきます。 ③個々の特性に応じた効果的なリハビリを行います。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

（1）地域密着型通所介護及び通所型サービス

①年間延利用人数(通所型サ含)	４,４０２人（前年比　３２３人増）	
②月平均利用人数(通所型サ含)	目標／　２９０人	実績／　３６６．８人
③営業日数	３１１日（前年比　８日増）	
④利用率(通所型サ含)（目標66%以上）	７８.６%（前年比 ３.８%増）	
	目標／　１２人（日）	実績／１４.１人（日）
⑤実利用者数(通所型サ含)	４９人※令和2年3月現在（前年比１０人増）	
⑥総合事業比率（利用者）	全体の　１６.７%（前年比　６.７%減）	

（2）認知症対応型通所介護及び介護予防認知症対応型通所介護

①年間延利用人数(予防含)	２,７４９人（前年比 ３４人減）	
②月平均利用人数(予防含)	目標／　２２５人	実績／　２２９.１人
③営業日数	３１１日（前年比　８日増）	
④利用率(予防含)（目標73%以上）	７３.７%（前年比 ２.９%減）	
	目標／　８.７人（日）	実績／８.８人（日）
⑤実利用者数(予防含)	２８人※令和2年3月現在（前年比４人減）	
⑥予防比率（利用者）	全体の　０.１%（前年比　１.３%減）	

（3）収入合計額

収入額(予防含) ※保険請求額	８３,５４６千円（前年比 １１,６３０千円増）

（地域密着型＋認知症対応型）	
内介護職員処遇改善加算額	５,６４９千円（前年比　７０６千円増）

【参考】通所サービス延利用人数　（人）

項　目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度
通所介護	4,019	4,332	4,317	4,079	4,402
認知対応	2,717	2,591	2,613	2,783	2,749
合　計	6,736	6,923	6,930	6,862	7,151

（５－②）通所型サービスＡ事業【総合事業】　所管：総合福祉管理室

項　目	内　容

1 通所型サービスＡ事業（飯豊町委託）令和２年３月～

営業日：原則金曜日
定員：8名
提供時間：原則10：30～14：00

□事業概要：生活機能の低下が認められる高齢者等が、通所型サービスの利用により、生きがいづくり及び健康保持を図り、社会的孤立の防止と地域における自立した日常生活を支援することを目的としています。

□利用状況

①年間延利用人数	６人	
②営業日数	２日（３月から受け入れ開始）	
③実利用者数	３人※令和2年3月現在	
④収入額	２１,０００円（委託料）	３,６００円（実　費）

□立ち上げ経過
①リバーヒル長井／介護予防センター館町視察（令和元年５月２７日）
②町との協議（令和元年７月８日・令和元年９月１８日）
③川西町社会福祉協議会通所型サービスＡ視察（令和２年１月３１日）

（６）短期入所生活介護事業【ショートステイ】所管：ふれあい介護支援室・医療健康室

項　目	内　容

1 短期入所生活介護事業（介護保険指定居宅サービス事業者）

【対象：要介護１～５】
定数：20床（個室ユニット型）
全日/24時間稼働
［料金関係］02.3現在

区分	日　額
要介護１	7,２５０円
要介護２	7,９２０円
要介護３	8,６６０円
要介護４	9,３３０円
要介護５	１０,０００円

［加算（減算）料金］
①送迎加算　184 円（回）
②看護体制加算Ⅱ8 円（日）
③生活サービス提供加算Ⅰ2　12 円（日）
④緊急短期入所受入加算 90 円（日）
⑤長期利用者提供減算-30 円（日）
⑥介護職員処遇改善加算 8.3%

2 介護予防短期入所生活介護事業（介護保険指定介護予防サービス事業者）

【対象：要支援1・２】
［料金関係］02.3現在

区分	日額
要支援１	5,４５０円
要支援２	6,６２０円

□事業概要：短期入所施設にて、要介護者及び要支援者へ食事、入浴、機能訓練及びレクリエーション等のサービスを提供します。短期入所施設には、特別養護老人ホーム等と併設された併設型と本事業所の様な単独型の２種があります。
単独型の事業所は県内でも珍しく個室ユニット型による提供を行っています。

31（元）年度の目標	①ご利用者様に喜んで頂けるようなサービスの充実を図ります。 ②介護事故は、絶対に起こさない意識を共有します。 ③職員一人一人が経営を意識し業務にあたります。
31（元）年度の実績	ふれあい介護支援室として業務の協力体制を意識して実行することができました。
結果評価	①こまめに居室を訪問し、声掛けを多くすることでご利用者様が安心感をもって過ごしていただけるようになりました。 ②ご利用者様にも参加いただき、定期的に季節に合ったおやつ作りの楽しい時間を設け、好評を得ることができました。 ③定期的に職員ミーティングや朝礼を開催し、ご利用者様の情報を共有したことで大きな事故を防ぐことができました。
主な課題	①ご利用者様の状態の変化に応じて適宜モニタリングを実施し計画に沿った統一したサービスを提供します。 ②イベント開催や広報を通じて当事業の魅力を伝えるためのアピールを積極的に行います。

□利用状況／業績：※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用人数(予防含)	５,３８１人（前年比　１８５人増）	
②月平均利用人数(予防含)	目標／　４７０人	実績／　４４８.４人
③営業日数	３６６日（前年比１日増）	
④収入額(予防含) ※保険請求額	６６,６１０千円（前年比２,０７３千円増）	
内介護職員処遇改善加算額	４,０８１千円（前年比　１２４千円減）	
⑤利用率(予防含)（目標77%以上）	７３.５%（前年比２.３%増）	
	目標／１５.４人（日）	実績／　１４.７（日）

⑥実利用者数	５２人※令和２年３月現在（前年同数）
⑦予防比率（利用者）	全体の７．２％（前年比　６％増）

【参考】短期入所サービス延利用人数　（人）

項　　目	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31（元）年度
介護・予防計	5,739	6,283	5,949	5,196	5,381

3 短期入所事業（障害者総合支援法指定障害福祉サービス事業者）

施設への短期入所を必要とする障がい者の利用実績は、８月から継続的な利用がありました。

①年間延利用日（人）数	５０日　（前年比５０日増）
②実利用者数	１人（前年比１人増）
③収入額	２８９千円（前年比２８９千円増）

4 在宅老人短期入所施設利用弾力化事業（飯豊町受託）

家庭的事情等により身体的介護又は自立生活支援が必要な要援護者の短期利用について、利用実績はありませんでした。

5 日中一時支援事業（障害者総合支援法による市町村地域生活支援事業の飯豊町委託）

日中における活動の場の確保及び一時的な見守り等が必要な在宅障がい児に対し、平日の早朝の時間帯に継続して支援を行いました。

①年間延利用日（人）数	４６１日（前年比６日減）
②実利用者数	２人※02.3 月現在
③収入額	９４９千円（前年比１２千円減）

6　公益を目的とする事業【困窮者支援拠点】

（１）生活困窮者自立支援事業【西置賜地域社協共同体】　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 自立相談支援事業（県委託） 西置賜地域生活自立支援サブセンター [窓口] 8：30～17：15 [休日]土・日・祝日及び／12 月 29 日～1 月 3 日 [体制] 相談支援員兼就労支援員（１名配置）	生活困窮者の経済的な自立促進を図ることを目的としながら、相談対応、自立支援計画の作成及び関係機関との連絡調整を行いました。特にプラン作成においては、目の前の生活課題のみならず、今後起こりうる課題を予測しながら予防的な支援も含めて援助することができました。

(1) 利用件数　（過去４年比較）

相談件数	31（元）年度	30年度	29年度	28年度
①新規相談件数	９件	１７件	１２件	１２件
内高齢者	４件	９件	６件	３件
内障がいのある人	３件	４件	３件	３件
②新規プラン作成	２件	１件	２件	５件
③延べ相談支援・援助回数	１１７件	９６件	１０２件	１５１件

(2) 支援調整会議の開催　４回
①第１回　７月　１日（新規１件・継続１件）
②第２回　９月２７日（新規１件）
③第３回１２月２４日（継続２件）
④第４回　３月２３日（継続３件）

(3) 飯豊町自立支援会議（新規）の開催　２回
①第１回　９月２７日（構成機関出席１０名・検討ケース１件）
②第２回　３月２３日（構成機関出席１０名・検討ケース１件・共有１件）

7　収益を目的とする事業　【デマンド交通拠点】

（１）地域の公共交通に関する事業（デマンド交通事業）　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 デマンド交通事業 「ほほえみカー」の運行　（飯豊町補助） [運休日]土・日・祝日及び 8 月 13 日～16 日／12 月 29 日～1 月 5 日 [車両台数]9 人乗り車両２台 4 人乗り車両２台 [予約受付]7:30～16:00	利用者の状況は、これまで増加し続けていた福祉割引による利用がヘビーユーザーの死亡等により前年と比較しおよそ 700 名ほど落ち込み、中でも中津川線の利用が 1 月あたり 10 名の減少が大きく影響しています。それを受けて、運行委員会では、町民に対して、きめ細かな広報を継続的に行っていくことを申し合わせながら、これまで利用がなかった方を対象としたインパクトのある宣伝に力を入れてきました。また、車内における忘れ物があった場合の対応として、予約センターにおいて一括管理するなどトラブル発生時の新しいルールづくりも進めてきました。

利用料金【平成 21 年 4 月最終改正】

地区	中津川	西部白椿	中部東部	長井エリア
中津川	400 円	400 円	600 円	800 円※
西部白椿	400 円	400 円	400 円	600 円
東部中部	600 円	400 円	400 円	600 円
長井エリア	800 円※	600 円	600 円	利用不可

※印はまちなかエリアの椿乗換エリア内で乗り継ぎした場合の料金となります。
※福祉割引適用者及び小学生は各料金の半額。
※小学生未満は１名まで無料　（１歳未満児無料）
２人目から小学生同一料金

(1) 利用状況の概要　※詳細の実績数値については資料編参照

①年間延利用者数	１０,４１３人（前年比1,３２４人減）
②１日平均利用者数	４３.５人（前年比５.６人減）
③稼働日数	２４０日（前年比１日増）

(2) 利用登録者の推移

時　　期	登録者数	登録者異動件数
平成３１年３月３１日現在	３,８７７名	新規登録３１件
令和　２年３月３１日現在	３,８２０名	削除件数８８件

(3) 利用促進事業の推進
①回数券の販売促進　（２６８冊/１,４９６,０００円）
②商工会無料券進呈事業との連携（５０５枚進呈/２０社）
③予約代行サービスの協力提携（通年）
④インターネット、ＦＡＸ及び書面による予約受付体制を構築
⑤ほほえみカー通信の発行（年２回）

(4) 運行委員会開催状況（定数：１５名／委員長：伊藤　榮造）

①令和　元年１０月２３日	いいで旅館	１４名出席

※新型コロナウィルス感染症予防対策のため３月の委員会を中止

(5) 企業協賛広告募集・契約　（年間５０,０００円）

企業名	継続年	企業名	継続年
①医療法人仁陽堂外田医院	13 年	②ゆり調剤薬局	13 年
③協同組合ゆりスタンプ	13 年	④桑島眼科医院	12年
⑤医療法人松下クリニック	12年	⑥いいでワゴー薬局	12年
⑦くのもと整形外科クリニック	8年	⑧松下歯科医院	6年
⑨NDソフトウェア株式会社	5年	⑩小笠原法律事務所	新規

8　その他

（１）関係機関との連携　所管：総合福祉管理室

項　　目	内　　容
1 西置賜地方福祉連絡会議（議　長：飯豊町社協）	西置賜管内社協と連携を保ちながら当面する共通課題について研究協議を行うと共に、活動振興や経営基盤の確保について連絡調整を図ってきました。

会議・研修会名	期日（場所）	出席者
①会長並びに事務局長会議	１１月７日～８日（白鷹町）	会長及び局長
②事務局長及び担当者会議	４月１６日（白鷹町）	局長及び係長
③担当者会議	２月２７日（白鷹町）	担当職員
④職員研究協議会（訪問介護事業所情報交換会）	８月　７日（飯豊町）	総合福祉管理室長及びサービス提供責任者

2 置賜地方社会福祉協議会連絡会

【置賜地区合同研修事業】

会議・研修会名	期日（場所）	出席者
①社会福祉協議会役員研修会（担当：飯豊町）	12月9日～10日（飯豊町）	役職員５名
②社会福祉協議会職員研修会（担当：長井市）	11月19日～20日(東京都)	室　長
③置賜ボランティアの輪研修会（担当：米沢市）	１１月１６日（米沢市）	ボランティア 11 名
④老人クラブ連合会連絡協議会　（担当：小国町）	5月25日及び10月7日	会長・女性委員
⑤担当者会議（担当：川西町）	9月19日～20日(川西町)	室　長

3 福祉大会及び福祉団体への協力

【福祉大会等の参加状況】

①山形県身体障害者福祉大会	７月２６日（新庄市）	身体障がい者福祉協会員11名参加
②山形県老人福祉大会	８月３０日（村山市）	老人クラブ会員１９名参加
③山形県障がい者スポーツ大会	８月３１日（天童市）	身体障がい者福祉協会員8名参加
④山形県・県民福祉大会	１１月１３日（鶴岡市）	民生委員・社協理事等１９名参加

【福祉団体研修会議随行】

	①飯豊町民生委員児童委員研修会　6月23日～25日（北九州）　事務局長 ②飯豊町老人クラブ連合会役員・女性委員研修会　8月30日～31日（上山市）　室　長 ③飯豊町身体障がい者福祉協会会員研修会　7月26日～27日（東根市）　室　長
4 関係会議（委員会）への役職選出又は関係機関より委嘱を受けるもの	(1) 会　　長 ①社会福祉法人山形県社会福祉協議会　評議員 ②飯豊町共同募金委員会募金審査委員会　委員（委員長） ③ほほえみカー運行委員会　委員（委員長） ④飯豊町生活支援介護予防サービス推進協議会（健康福祉課）　委員（委員長） ⑤飯豊町介護保険運営協議会（健康福祉課）　委員（委員長） ⑥飯豊町民生委員推薦会（健康福祉課）　委員（委員長） ⑦いいで未来サポート隊（総務企画課）　会員（監　事） ⑧飯豊町障がい者差別解消支援地域協議会（健康福祉課）　委　員 ⑨飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課）　委　員 (2) 事務局長 ①飯豊町要保護児童対策地域協議会（教育委員会）　委　員 ②飯豊町地域公共交通会議　（住民税務課）　委　員 ③山形県共同募金会飯豊町共同募金委員会　出納員 ④飯豊町高齢者虐待防止ネットワーク協議会（健康福祉課）　委　員 ⑤会員加入促進若手増強委員会（老人クラブ連合会）　委　員 (3) 施設長 ①飯豊町障害者自立支援協議会（健康福祉課）　委　員 ②飯豊町介護保険運営協議会（健康福祉課）　委　員 ③飯豊町地域包括支援センター運営協議会（健康福祉課）　委　員 ④グループホームひめさゆり荘2号館運営推進会議（いいで福祉会）　委　員 (4) 法人が加盟又は参加する機関団体・会議等 ①山形県老人福祉施設協議会　会　員 ②長井地区安全運転管理者連絡協議会（長井警察署）　会　員 ③長井地区被害者支援連絡協議会（長井警察署）　会　員 ④飯豊町商工会　会　員 ⑤置賜地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会　構成員 ⑥公益社団法人山形県社会福祉振興会　会　員 ⑦社会福祉法人福利厚生センター　会　員 ⑧飯豊町地域ケア会議（健康福祉課）　構成員 ⑨やまがた福祉移動サービスネットワーク　会　員
5 町長との情報交換会の開催	地域における福祉問題及び法人が抱える経営課題について首長と情報交換を設定のうえ、町のバックアップと行政施策との連携強化について理解を求めました。 (1) 開催日　令和元年　9月26日 (2) 提案及び要望事項 ①介護保険制度上生じるマイナス部分について公的な対策検討 ②施設の修繕又は更新に係る費用の補助 ③従来のドーザー除雪ができない施設入口付近の除雪に係る経費に係る補助 ④単身高齢者宅への呼び出し装置の設置支援 (3) 情報交換　事務局職員採用試験の経過、地域包括支援センターの受託等
6 飯豊町社会福祉法人連絡会（仮称）の組織化に向けた検討	町内の社会福祉法人のネットワークを構築し、専門性を活かした情報の共有、連携、協働を図り、地域の福祉課題の解決に一体的に取り組むことで、安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与していくための組織化に向けて4法人合同による研修会並びに情報交換会を初めて主催しました。 ①開催日　令和元年11月29日 ②研　　修　地域における公益的な取組みと社会福祉法人の連携について（講師：県社会福祉協議会） ③情報交換　各法人が抱える課題、連絡会の立ち上げについて等

7 共催・後援等	(1) 共　　催　1件 ①大人が変わればこどもも変わる県民運動（主催：山形県・山形県教育委員会等） (2) 名義後援　6件 ①第37回飯豊町長・町老連会長杯争奪ゲートボール大会　（主催：飯豊町老人クラブ連合会） ②第43回飯豊町高齢者体育レクリエーション大会　（主催：飯豊町老人クラブ連合会） ③第2回飯豊町高齢者芸能発表会　（主催：飯豊町老人クラブ連合会） ④第28回山形県健康福祉祭「美術展」　（主催：山形県・山形県社会福祉協議会） ⑤第69回山形県・県民福祉大会（主催：山形県・山形県社会福祉協議会等） ⑥第13回公式ワナゲ全国交流大会（主催：一般社団法人山形県老人クラブ連合会・日本ワナゲ協会）

（2）共同募金運動及び歳末たすけあい運動等への協力　　所管：総合福祉管理室

項目	内容
1 赤い羽根共同募金運動への協力 実施時期：令和元年10月1日～12月31日（厚生労働省告示）	地域福祉の推進を図るための財源を確保し、民間福祉活動を支援するための共同募金について、住民自治組織及び関係団体の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のために戸別募金の目安額は1世帯700円と設定しました。 目標額：2,346,000円（前年比16,000円増） 実績額：2,226,715円（前年比1,152,791円減） 達成率：94.9% ①戸別募金　1,369,826円　②街頭募金　30,900円 ③大口募金　723,479円　④学校募金　50,369円 ⑤職域募金　31,831円　⑥イベント募金　20,310円
2 歳末たすけあい運動への協力 実施時期：令和元年11月8日～12月12日	歳末時期に地域で援助を必要としている方々を支えあうための運動として、住民自治組織及び民生委員の皆様の協力を得て取り組みました。なお、目標額達成のために戸別募金の目安額は1世帯500円と設定しました。 配分審査委員会の開催状況／令和元年12月18日（福祉の里めざみ） 目標額：1,005,000円（前年同額） 実績額：984,000円（前年比9,500円減） 達成率：97.9% ①戸別募金　984,000円

（3）その他　　所管：総合福祉管理室

項目	内容
1 福祉サービスに関する苦情・事故等	事故件数は減少していますが、軽視できない内容が報告されています。内容別にみると利用者の転倒に関する事故が多く、リスクを回避するための取り組みをリスクマネジメント委員会で検討しながら施設全体で共有してきました。なお、解決に向けての話し合いが不調に終わったケースはありませんでした。 (1) 苦情・事故の発生状況 ①苦情件数：3件（前年同数）　②事故件数：24件（前年比1件減）

内容		地域福祉事業	介護予防	居宅介護	訪問介護	通所介護	短期入所	デマンド
事故	車両に関わる事故	0		0	0	0	1	1
	利用者転倒、ケガ	0	0	0	0	5	9	0
	利用料徴収・誤請求				0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	6	2	0
苦情	利用料等の徴収・誤請求				1	0	0	0
	職員態度・サービス不満	0	0	1	0	1	0	0
	説明・情報不足	0	0	0	0	0	0	0

(2) 苦情解決委員会開催状況（委員：3名／委員長：木村　勝男）

①令和　2年　3月30日	福祉の里めざみ相談室	委員3名出席

(3) 苦情解決処理結果の公表（いただいた苦情の内容と対応の要約）

Case1（居宅介護）	ケアマネジャーから住宅改修の保険適用が可能との説明を受けたにもかかわらず対象とならず、それらが引き金となって他事業者への契約変更の話を職員から持ち掛けられたことへの不満から苦情につながる。
	対応：相応しくない対応があったことを謝罪したが、本人の意向は変わらず、他の事業所への変更手続きなどの対応を行いました。

Case2（通所介護）	迎えの時間が１時間以上待たされたことについて苦情を受け付けました。	
	対応：職員の確認不足であっことを説明のうえ謝罪し、今後同じミスが無いように注意することを伝え、納得いただきました。	
Case3（訪問介護）	保険外サービスにも関わらず負担割合証の提示依頼の文書を送付してしまったほか、宛名の漢字を間違ってしまい苦情に発展しました。	
	対応：宛名の登録変更を直ちに対応、遠方の家族からの苦情のため、電話で謝罪を行い、同じ過ちを繰り返さないことをお伝えしました。	

2 役職員等による研修関係

(1) 評議員役員合同研修会　１２月１９日（評議員１２名・役員１１名）
講演「法人経営の実態を踏まえ今後の組織運営を考える」
講師　税理士　茂木達男氏（河北町）

(2) 役員による視察研修　　１１月１２日～１３日（役職員１１名）
内容「秋田県湯沢市社会福祉協議会」の取り組みを視察

(3) 事業主が実施する研修並びに教育

項　目	期　日	テーマ/ 講師
全員対象研修	１１月２７日	こころと体のコンディションづくり（労働衛生コンサルタント）後藤　剛氏

(4) 職員（研修委員会等）が自発的に実施する研修

研修名称（講師）	期日	対象
①緊急時における社協職員によるボランティアセンター（井原満明氏）	１１月２６日	事務職
②認知使用のケアについて（医療法人社団緑愛会）	１月２２日	介護職

3 人事考課の取り組み

人事考課制が導入３年目となり、職員の成果が適切に評価される納得性の高い運用が築かれてきました。引き続き、適切な処遇体系の確立及び職員の法人に対する貢献度の向上に資するために更に望ましい評価のあり方を模索していきます。

なお、本格導入１年目の賞与評価は、直近の業績評価を業種ごとに実施しましたが、個別の能力評価と目標管理を加えるなど次年度段階での見直しが求められます。

(1) 昇格・昇給等のための定期評価の結果

時期	対象期間	対象職員		平均評点（満点115点）
令和２年４月	令和３１年４月１日～令和２年２月末日	１等級	１３名（内非正規　８名）	８８．８点（A）
		２等級	１５名（内非正規１３名）	８２．３点（B）
		３等級	１２名（内非正規　３名）	７９．３点（B）
		４等級	５名（内非正規　０名）	８０．４点（B）

(2) 賞与（勤勉手当成績率）査定のための評価の結果

時期	対象期間	業績区分	総合評語
令和元年　６月	平成３０年１２月１日～令和元年５月末日	事務局職員	B（全等級）
		施設職員	B（全等級）
令和元年１２月	令和元年６月１日～令和元年１１月末日	事務局職員	B（全等級）
		施設職員	B（全等級）

(3) その他
①事務局長、施設長と個々の職員との面談（９月～１１月）

4 介護職員の処遇改善

福祉・介護職員等の処遇の改善を図り人材不足の解消を進めるため、加算算定に必要な要件の整備にあたりました。また、主にベテラン職員の賃金向上を通じ、リーダーの定着化を図るため、１０月から新設された特定処遇改善加算を取得し、処遇改善一時金の支給財源に活用しました。

(1) 介護保険（報酬分のみ）算定状況（令和２年４月国保連審査分）

介護保険居宅サービス事業者	元年度(区分1)	30年度(区分1)	増　減
訪問介護給付(予防含)全体報酬額	12,538,810円	11,536,908円	1,001,902円
①介護職員処遇改善加算受給額	1,467,830円	1,392,870円	74,960円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	319,460円	－	319,460円
通所介護給付(予防含)全体報酬額	83,566,773円	71,916,198円	11,650,575円
①介護職員処遇改善加算受給額	5,649,360円	4,943,470円	705,890円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	705,080円	－	705,080円
短期入所介護給付(予防含)全体報酬額	66,610,110円	64,537,229円	2,072,881円
①介護職員処遇改善加算受給額	4,081,480円	4,205,520円	−124,040円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	637,800円	－	637,800円
合　計	162,715,693円	147,990,335円	14,725,358円
①介護職員処遇改善加算受給額	11,198,670円	10,541,860円	656,810円
②介護職員等特定処遇改善加算受給額	1,662,340円	－	1,662,340円

(2) 障害福祉サービス算定状況　（令和２年４月国保連審査分）

障害福祉サービス事業者	元年度(区分1)	30年度(区分1)	増　減
自立支援介護給付費(訪問)	2,045,900円	2,051,549円	−5,649円
①福祉・介護職員処遇改善加算受給額	464,260円	515,510円	−51,250円
②福祉・介護職員等特定処遇改善加算受給額	0円	－	－

5 監督官庁等が実施した検査又は調査等

所轄庁による社会福祉法人・施設指導監査及び介護事業所への実地指導は、行われておりません。

6 労働安全衛生活動の推進

職場として安全衛生活動を推進することで、労働災害の防止を図り、職員一人ひとりが安心して働ける職場環境の実現と職員が心身ともに健康で継続して勤務できるように努めてきました。

(1) 健康診断の充実(南陽健診センター) (2) ４Ｓ・ＫＹ活動の実施(通年)
(3) インフルエンザ予防接種の実施　(4)ストレスチェックの実施(11月)
(5) 感染症予防対策、転倒防止対策等　(6)安全衛生委員会の開催(12回)

7 働き方改革の推進

働き方改革により、平成３１年４月から年次有期休暇に関し年５日以上の取得が義務化されたことにより、年度付与となる臨時職員については、新ルールに基づいた労務管理に努めました。今後は、時間外労働及び休日労働の実態把握に努めながら、業務数量に応じた適正職員数の配置に向けて人材の確保につなげていくことが課題です。

(1) 時間外労働（休日労働）抑制のための把握状況

室　別（管理職は適用除外）		月平均残業時間(平日+休日)	残業数最大月	月平均休日労働日数
組　織　全　体		３８．３時間	３月	５日
事務職	総合福祉管理室	１９．４時間	３月	２．７日
介護職	地域生活支援室	１１．７時間	７月	０．８日
	ふれあい介護支援室	５．３時間	３月	１．６日
	医療健康室	１．８時間	１１月	なし

（注１）延長することができる時間数（法定）１日：４時間/1月：４０時間/ 年間：３００時間
（注２）労働させることができる法定休日の日数（労使協定）　１ケ月に２日以内

(2) 年次有給休暇取得率の状況

室　別（施設長・補佐…ふれあい介護支援室）		取得率=取得日数/今期付与日数×100 正規	非正規	合計
組　織　全　体		４２．４％	５０．１％	４６．９％
事務職	総合福祉管理室	５９．６％	４３．１％	５１．３％
介護職	地域生活支援室	３６．７％	７０．２％	５３．４％
	ふれあい介護支援室	４０．８％	４８．１％	４５．７％
	医療健康室	３３．６％	－	３３．６％

8 職員採用及び正規転換

法人事務局において若手職員の補強と新たなリーダーの育成を図るため、長期勤続によるキャリアの形成を図る観点から、社会福祉士などの専門的な知識を有する職員の選考試験を実施しました。

また、介護部門における臨時職員を対象とした正規転換試験を初めて取り入れ、臨時職員の意欲の向上や組織の活性化を目指してきました。

(1) ２年４月採用予定／事務局職員募集（受付期間　６月３日～７月１６日）
①第一次選考試験（８月１８日）　教養試験・作文試験・職場適応性検査
②第二次選考試験（９月１４日）　面接試験
(2) ２年４月登用予定／介護職員正規転換審査（受付期間　１月１５日～２８日）
①登用試験（２月９日）　作文試験・面接試験

9 その他

(1) 経営マネジメント・財務会計に関する指導（5月/7月/10月/2月：さくら総合会計事務所）
(2) 社会福祉功労者の表彰（会長感謝状）理事　髙橋　憲策氏
(3) 職員の自主的な資格取得に対し助成するための基金事業　０件

■施設等に対するボランティア活動、物品寄贈等の善意

受付・活動日	区　分	氏　名・団体名	内　容
令和 元年 5月	ボランティア	白椿地区民生委員児童委員協議会の皆様	施設周辺花植え
令和 元年 6月	物品寄付	県退職公務員連盟西置賜支部の皆様	タオル寄贈
令和 元年 7月	物品寄付	伊藤由紀子　様（高　峰）	お花寄贈
令和 元年 7月	施設訪問	文化琴と詩吟の会の皆様	激励慰問
令和 元年 7月	物品寄付	横山　茂子　様（高　峰）	お花寄贈
令和 元年 7月	施設訪問	飯豊わくわくこども園の年長児の皆様	激励慰問
令和 元年 7月	事業協助	シルバープロージットの皆様	イベント協力
令和 元年 8月	物品寄付	匿名希望　　様（　中　）	おむつ寄贈
令和 元年 9月	物品寄付	安部　洋一　様（　椿　）	おむつ寄贈
令和 元年 9月	施設訪問	ゆりコーラスの皆様	激励慰問
令和 元年 10月	施設訪問	飯豊わくわくこども園の年中児の皆様	激励慰問
令和 元年 11月	団体事業協助	飯豊町つばき保育園の皆様	アトラクション披露
令和 元年 11月	体験活動	飯豊町立手ノ子小学校６年生の皆様	社会体験
令和 元年 11月	物品寄付	伊藤由紀子　様（高　峰）	おむつ寄贈
令和 元年 11月	施設訪問	日本舞踊　藤柳流　様	激励慰問
令和 元年 11月	物品寄付	後藤　昇平　様（　椿　）	お米寄贈（歳末）
令和 元年 11月	物品寄付	匿名希望　　様（小白川）	おむつ寄贈
令和 元年 12月	物品寄付	下椿いきいきクラブの皆様	門松寄贈
令和 元年 12月	施設訪問	ひまわり会の皆様	激励慰問
令和 元年 12月	事業協助	特定非営利活動法人ほっとの皆様	福祉年賀状作成
令和 元年 12月	ボランティア	特定非営利活動法人ほっとの皆様	街頭募金活動
令和 2 年 2月	物品寄付	佐々木　喜　様（萩　生）	タオル寄贈
令和 2 年 2月	物品寄付	飯豊町立第一小学校の皆様	歩行器寄贈

■社会福祉に関する表彰受賞関係（県段階以上）

民生委員関係	全国社会福祉協議会会長表彰【民生委員児童委員功労】　伊藤キミ子氏（　椿　） 全国民生委員児童委員協議会会長表彰【永年勤続単位民児協会長】　片桐　天山氏（萩　生） 山形県知事社会福祉功労者感謝状【民生委員児童委員配偶者】　伊藤　義弘氏（　椿　）
障がい者福祉関係	山形県身体障害者福祉大会会長表彰【自立更生者】　鈴木　芳子氏（中津川）
老人福祉関係	山形県知事老人福祉功労者感謝状【老人クラブ育成功労】 横山　京次氏（中津川） 山形県老人クラブ連合会会長表彰【老人クラブ育成指導功労者】 屋嶋　俊一氏（萩　生）　手塚　晴夫氏（萩　生）
ボランティア関係	山形県・県民福祉大会会長表彰【社会福祉事業共助・奉仕者（団体）】　ひまわり会
共同募金関係	厚生労働大臣感謝状・中央共同募金会会長感謝楯 伊藤　新榮氏（　椿　）
社会福祉従事者（役職員）関係	山形県知事社会福祉功労者表彰【社会福祉事業従事者】　川﨑美由紀（本会職員） 山形県・県民福祉大会会長表彰【一般社会福祉事業関係功労】　山口　健氏（高　峰） 山形県社会福祉協議会会長感謝状【協力援助者】　舟山兵八郎氏（小白川）

9　資料編

令和 2年 3月31日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
理事・監事名簿

任期　令和元年６月２１日から就任後２年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和３年４月以降に開催される定時評議員会の終結時）

理事：　定数／9名以上11名以内：現数（総数）　10名

No.	役職	選出区分	氏　名	当初就任年月日	職　業
1	会長	第１号	伊　藤　榮　造	H.26年 4月21日	無職
2	副会長	第２号	菅　野　誠　一	H.11年12月22日	農業
3	副会長	第１号	嶋　貫　吉　晴	H.25年 5月30日	地方公務員（特別職）
4	常務理事	第１号	伊　藤　勝　昭	H.29年 6月15日	地方公務員
5	理事	第１号	竹　田　　經	H.20年 4月21日	無職
6	理事	第１号	鈴　木　廣　志	H.29年 6月15日	会社役員
7	理事	第１号	髙　橋　礼　子	H.29年 6月15日	無職
8	理事	第２号	片　桐　天　山	H.28年 4月21日	宗教法人役員
9	理事	第２号	伊　藤　キミ子	R.元年 6月21日	農業
10	理事	第２号	佐　藤　艶　子	H.29年 6月15日	農業

【理事の選出区分】次の各号の定めるところにより選任する。
(1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者　5名以上6名以内
(2) 当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者　4名以上5名以内

監事：　定数／2名：現数（総数）2名

No.	役職	選任要件	氏　名	当初就任年月日	職　業
1	監事	第２号	須　貝　周　一	H.23年12月22日	税理士
2	監事	第１号	舟　山　直　志	H.29年 6月15日	社会福祉法人役員

【監事の選任要件】監事には、次に掲げる者が含まれなければならない。（法第44条第5項関係）
(1) 社会福祉事業について識見を有する者　１名
(2) 財務管理について識見を有する者　１名

令和 2年 3月31日現在

社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会
評議員　名簿

定数　１０名以上１５名以内　：現数（総数）１３名

任期　平成２９年４月１日から就任後４年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会終結の時まで
（令和３年４月以降に開催される定時評議員会の終結時）

１　住民自治組織の団体　　現数５名

No.	氏　　名	当初就任年月日	選出区分/団体等
1	横　山　利　一	H. 26年　5月30日	中部地区の住民代表として推薦のあった者
2	長　沼　良　治	H. 29年　4月　1日	白椿地区の住民代表として推薦のあった者
3	加　藤　富　夫	H. 29年　4月　1日	東部地区の住民代表として推薦のあった者
4	山　口　　健	H. 14年　4月10日	西部地区の住民代表として推薦のあった者
5	渡　部　みゑ子	H. 29年　4月　1日	中津川地区の住民代表として推薦のあった者

２　民生委員児童委員協議会　　現数２名

6	伊　藤　佐　市	H. 29年　4月　1日	飯豊町民生委員児童委員協議会の代表
7	山　口　明　美	H. 30年　5月24日	飯豊町民生委員児童委員協議会の代表

３　公私社会福祉保健衛生施設及び団体並びに社会福祉関係行政機関　　現数２名

8	米　野　彌壽男	H. 29年10月11日	飯豊町老人クラブ連合会の代表
9	熊　野　昌　昭	H. 28年　4月10日	飯豊町教育委員会の代表

４　住民福祉活動の奉仕者又はその代表者並びに学識経験者　　現数４名

10	那　須　絹　子	H. 26年　4月10日	飯豊町婦人会の代表
11	井　上　慶　次	H. 28年　4月10日	米沢人権擁護委員協議会常務委員会の代表
12	後　藤　信　子	H. 24年　4月10日	飯豊町分区赤十字奉仕団の代表
13	五十嵐　節　子	H. 29年　4月　1日	学識経験を有する者

【選出区分の解説】評議員・役員選任規程により定数を規定

第１号　住民自治組織の団体　　≪５名以内≫
第２号　民生委員児童委員協議会　　≪１名以上２名以内≫
第３号　公私社会福祉保健衛生施設及び団体並びに社会福祉関係行政機関　≪２名以上３名以内≫
第４号　住民福祉活動の奉仕者又はその代表者並びに学識経験者　　≪２名以上５名以内≫

令和元年度居宅介護支援（ケアマネジメント）事業実績報告書

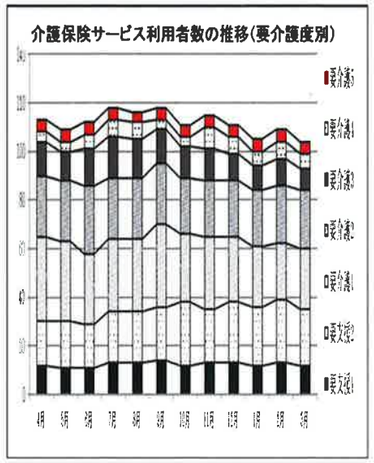
在宅介護支援センター福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：31件　　②R2.3現在契約者数:69名※予防除

月区別	介護予防【受託】		介護保険					合計(件)※予防除	前年度比較
	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5		
報酬単価	4,310(4,300)		14,570(13,530)		17,730 (16,680)				
4月	12	18	35	25	14	4	5	83	3
5月	11	19	33	25	12	4	5	79	-3
6月	11	18	29	28	15	6	5	83	-2
7月	13	21	30	25	17	7	5	84	0
8月	13	21	30	25	16	7	4	82	0
9月	14	22	34	25	14	4	5	82	-6
10月	12	26	28	23	13	4	5	73	-15
11月	13	22	30	23	13	9	5	80	-6
12月	13	25	27	23	11	7	5	73	-8
1月	12	24	25	23	10	6	5	69	-12
2月	13	26	23	24	11	7	5	70	-9
3月	12	23	25	24	9	6	5	69	-11
合計	149	265	349	293	155	71	59	927	-69
構成割合			37.6%	31.6%	16.7%	7.7%	6.4%	100.0%	

(注1)報酬単価＝特定事業所加算Ⅱ4,000円を含む。（　）内は令和元年９月までの単価を記載。
(注2)初回加算別途（3,000円別途）　住宅改修支援業務を行った場合（2,000円別途）



【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を除く各介護度の延べ人数に１～５を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

平成31(元)年度	2.14	平成30年度	2.08

令和元年度短期入所生活介護（ショートステイ）事業実績報告書

短期入所生活介護センター福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

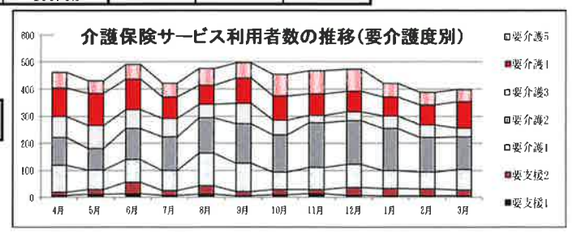
①R2.3現在契約者数：52名※予防含　　(注)報酬単価=下段(4～9月)上段(10月～3月)

月区別	介護予防		介護保険					合計(日)	月定員（日数×20名）	当年度利用率	前年度比較
	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
報酬単価	5,450 (5,430)	6,620 (6,600)	7,250 (7,230)	7,920 (7,900)	8,660 (8,630)	9,330 (9,300)	10,000 (9,970)				
4月	9	10	99	104	77	105	59	463	600	77.2%	1.0%
5月	12	18	72	79	86	117	47	431	620	69.5%	-7.6%
6月	15	42	84	114	69	112	56	492	600	82.0%	10.8%
7月	9	17	74	123	68	80	50	421	620	67.9%	0.5%
8月	12	32	119	131	49	71	62	476	620	76.8%	8.9%
9月	6	16	105	145	75	94	55	496	600	82.7%	15.0%
10月	10	19	64	138	54	90	79	454	620	73.2%	-6.6%
11月	14	16	81	165	28	79	84	467	600	77.8%	1.8%
12月	8	30	84	161	33	77	80	473	620	76.3%	-1.8%
1月	6	28	66	154	48	69	50	421	620	67.9%	6.4%
2月	6	25	62	129	46	74	46	388	580	66.9%	-0.6%
3月	6	22	75	121	33	96	46	399	620	64.4%	0.7%
合計	113	275	985	1,564	666	1,064	714	5,381	7,320	73.5%	2.4%
構成割合	2.1%	5.1%	18.3%	29.1%	12.4%	19.8%	13.3%	100.0%			

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

平成31(元)年度	2.65	平成30年度	3.03



2、在宅老人短期入所施設利用弾力化事業【町受託】

利用実績なし

3、障がい福祉サービス利用実績【短期入所】

月区別	対象	延利用	月区別	対象	延利用
4月	0	0	10月	1	4
5月	0	0	11月	1	8
6月	0	0	12月	1	4
7月	0	0	1月	1	4
8月	1	16	2月	1	4
9月	1	6	3月	1	4

①対象者　1名　　②年間延べ利用日数　50日

4、日中一時支援事業利用実績【短期入所】

月区別	対象	延利用	月区別	対象	延利用
4月	2	40	10月	2	41
5月	2	35	11月	2	40
6月	2	39	12月	2	40
7月	2	43	1月	2	35
8月	2	36	2月	2	35
9月	2	37	3月	2	40

①対象者　2名　　②年間延べ利用日数　461日

令和元年度居宅介護等（ホームヘルプ）事業実績報告書

訪問介護ステーション福祉の里めざみ

1、要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：　30 件/契約解除数：　26 件　②R1.3現在契約者数：　30名※予防含

月区別	利用者実人数	総合事業		介護保険給付					合計（回）	給付時間（時間／分）	1回あたり給付時間	給付時間前年対比
		要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
4月	26	5	24	83	50	47	2	61	272	173:30:00	0:38:16	3:07:00
5月	27	4	25	88	50	36	19	80	302	200:59:00	0:39:56	6:09:00
6月	27	0	25	85	44	36	44	57	291	193:06:00	0:39:49	－ 0:20:00
7月	29	0	41	99	34	62	16	65	317	213:43:00	0:40:27	18:46:00
8月	26	0	41	62	28	53	36	44	264	182:06:00	0:41:23	1:16:00
9月	29	0	51	76	35	53	41	43	299	205:32:00	0:41:15	－ 12:47:00
10月	28	0	50	72	51	71	64	49	357	221:03:00	0:37:09	－ 14:47:00
11月	28	4	32	93	29	56	31	42	287	178:14:00	0:37:16	5:25:00
12月	28	8	40	84	15	46	51	25	269	165:34:00	0:36:56	11:17:00
1月	27	8	42	30	30	45	46	41	242	154:00:00	0:38:11	8:47:00
2月	29	9	44	24	8	64	36	41	226	138:51:00	0:36:52	－ 17:24:00
3月	30	8	41	26	16	79	62	57	289	178:41:00	0:37:06	22:56:00
合計	334	46	456	822	390	648	448	605	3,415	2205:19:00	0:38:45（前年41:14）	32:25:00
構成割合		1.3%	13.4%	24.1%	11.4%	19.0%	13.1%	17.7%	100%			

（注）給付時間=　総合事業給付＋介護保険給付

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

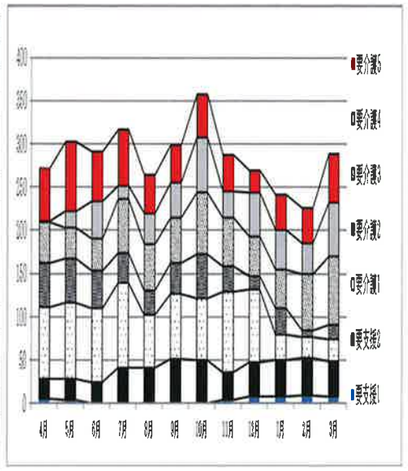
平成31(元)年度	2.59	平成30年度	1.98

2、障がい福祉サービス利用実績【居宅介護、重度訪問】

①対象者：　6名（R2.3現在）　②家事:380時間 ③身体:152時間

月区別	利用実数	サービス提供回数							
		家事援助（時間）				身体介助			合計
		0.5	1.0	1.5	2	0.5	1.0	1.5	
4月	6	9	9	0	7	4	8	0	37
5月	6	14	12	0	7	4	9	0	46
6月	6	4	8	0	16	12	8	0	48
7月	6	15	10	0	8	5	9	0	47
8月	6	9	9	0	7	4	8	0	37
9月	6	14	12	0	7	4	9	0	46
10月	6	12	12	0	8	5	9	0	46
11月	6	14	12	7	0	11	8	0	52
12月	6	16	12	8	0	11	10	1	58
1月	6	14	11	7	0	11	8	0	51
2月	6	13	11	7	0	11	8	0	50
3月	6	16	10	9	0	13	9	0	57
合計	72	150	128	38	60	95	103	1	575
構成割合	－	26.1%	22.3%	6.6%	10.4%	16.5%	17.9%	0.2%	100%

介護保険サービス利用者数の推移（要介護度別）



3、安心生きがい訪問事業支援実績【町受託】

月区別	件数	備考	月区別	件数	備考
4月	26	休止1	10月	28	中止1/新規2
5月	27	再開1	11月	30	再開1/新規1/介保移行1
6月	28	新規1	12月	33	新規5／休止1
7月	29	新規1	1月	32	休止1
8月	30	新規1	2月	33	新規1/再開1/休止1
9月	27	終了2/介保移行1	3月	33	介護保険移行1

①対象者　33名（R2.3現在）　②延べ支援件数　356件

（注）定期訪問　1件につき月２回／お元気コール１件につき月２回

4、訪問自費介護サービス事業実績（保険外サービス）

月区別	回数(人)	提供時間	月区別	回数(人)	提供時間
4月	10（ 6）	15:09:00	10月	8（ 6）	12:45:00
5月	11（ 8）	21:30:00	11月	8（ 6）	16:30:00
6月	8（ 6）	21:00:00	12月	10（ 6）	26:55:00
7月	14（ 8）	34:45:00	1月	5（ 4）	7:45:00
8月	8（ 7）	17:45:00	2月	10（ 6）	22:45:00
9月	11（ 8）	23:15:00	3月	10（ 3）	24:15:00

①延べ提供回数　113回　②延べ提供時間数　244時間19分

令和元年度通所介護（デイサービス）事業実績報告書

日帰り介護センター福祉の里めざみ

1、地域密着型通所介護・通所型サービス要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：　35件　／契約解除数：　41件　②R2.3月現在契約者数：　49名

月区別	営業日数（A）	利用者実人数（B）	総合事業（月額）		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数（C）	月定員 D（A×18名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
報酬単価			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
			16,550（16,470）	33,930（33,770）	7,390（7,350）	8,730（8,680）	10,120（10,060）	11,500（11,440）	12,880（12,810）				
4月	26	63	23	55	106	88	50	52	7	381	468	81.4%	−1.6%
5月	27	66	19	60	112	119	53	52	11	426	486	87.7%	4.5%
6月	25	67	14	52	102	115	55	65	8	411	450	91.3%	13.8%
7月	27	65	21	47	108	140	65	44	8	433	486	89.1%	11.5%
8月	27	62	18	39	107	126	60	24	9	383	486	78.8%	6.6%
9月	25	62	15	36	116	130	53	17	8	375	450	83.3%	8.4%
10月	27	60	21	37	117	129	50	24	7	385	486	79.2%	2.7%
11月	26	61	21	29	109	111	53	22	8	353	468	75.4%	1.1%
12月	26	55	31	30	96	104	31	18	7	317	468	67.7%	−5.3%
1月	24	54	30	27	103	90	32	16	7	305	432	70.6%	3.2%
2月	25	52	29	29	100	90	41	18	8	315	450	70.0%	4.5%
3月	26	49	23	29	95	113	36	16	6	318	468	67.9%	−4.9%
合計	311	716	265	470	1271	1355	579	368	94	4,402	5,598	78.6%	3.8%
構成割合			6.0%	10.7%	28.9%	30.8%	13.2%	8.4%	2.1%	100%			

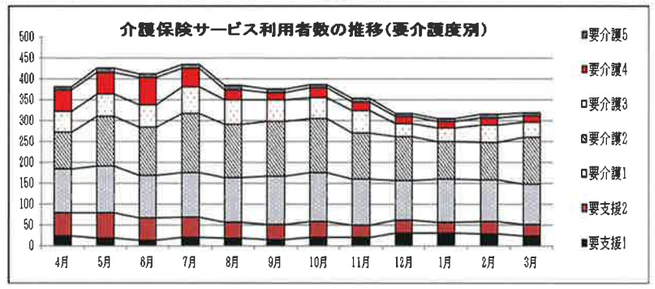
（注1）営業日数=休日：日曜日及び年始1～3日
（注2）報酬単価=下段（4～9月）上段（10月～3月）

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

平成31(元)年度	1.86
平成30年度	2.07

介護保険サービス利用者数の推移（要介護度別）



2、認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護要介護度別利用者数

①年間新規契約件数：　13件　／契約解除数：　14件　②R2.3現在契約者数：　33名

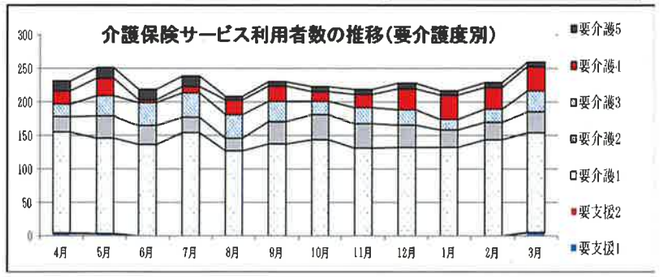
月区別	営業日数（A）	利用者実人数（B）	介護予防		介護保険（通所:7時間～8時間）					利用延べ人数（C）	月定員 D（A×12名）	当年度利用率E（C/D）	前年利用率比較
報酬単価			要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5				
			8,560（8,520）	9,560（9,520）	9,890（9,850）	10,970（10,920）	12,040（11,990）	13,120（13,070）	14,200（14,140）				
4月	26	32	1	0	152	22	19	20	15	229	312	73.4%	10.2%
5月	27	34	1	0	143	34	30	26	15	249	324	76.9%	12.0%
6月	25	31	0	0	137	28	34	5	15	219	300	73.0%	−0.7%
7月	27	31	0	0	154	23	37	9	16	239	324	73.8%	1.3%
8月	27	30	0	0	127	19	36	22	5	209	324	64.5%	−12.7%
9月	25	31	0	0	138	33	30	23	7	231	300	77.0%	−9.0%
10月	27	28	0	0	144	38	19	15	7	223	324	68.8%	−12.7%
11月	26	29	0	0	132	36	24	20	7	219	312	70.2%	−8.7%
12月	26	30	0	0	133	33	23	31	8	228	312	73.1%	−5.1%
1月	24	27	0	0	133	26	15	37	6	217	288	75.3%	−3.1%
2月	25	28	0	0	144	26	20	32	8	230	300	76.7%	−4.9%
3月	26	28	1	0	150	31	31	37	6	256	312	82.1%	1.9%
合計	311	359	3	0	1,687	349	318	277	115	2,749	3,732	73.7%	−2.9%
構成割合			0.1%	0.0%	61.4%	12.7%	11.6%	10.1%	4.2%	100%			

【利用者の平均介護度の推移】

（要支援を含む各介護度の延べ人数に１～５（要支援1＝0.375/要支援2＝1）を乗じ、加算したものを年間延べ利用者数で除する）

平成31(元)年度	1.82
平成30年度	1.89

介護保険サービス利用者数の推移（要介護度別）



令和元年度飯豊町デマンド交通事業　運行実績報告書

平成３１年４月１日～令和２年３月３１日

① 利用状況総括表

月別	利用者計	稼働日	1日あたり平均	内 町内利用	内 町外利用
H31年4月	926人	21日	44.1人	15.1人	29.0人
R 1年5月	825人	21日	39.3人	14.6人	24.7人
R 1年6月	864人	20日	43.2人	16.0人	27.2人
R 1年7月	994人	22日	45.2人	15.2人	30.0人
R 1年8月	723人	17日	42.5人	18.1人	24.4人
R 1年9月	845人	19日	44.5人	18.3人	26.2人
R1年10月	889人	22日	40.4人	16.4人	23.7人
R1年11月	920人	20日	46.0人	17.0人	29.0人
R1年12月	956人	20日	47.8人	20.0人	28.0人
R2年 1月	876人	19日	46.1人	16.4人	29.7人
R2年 2月	807人	18日	44.8人	16.3人	28.5人
R2年 3月	788人	21日	37.5人	10.2人	27.3人
合　計	10,413人	240日	43.5人	16.1人	27.3人
(前年比)	-1,324人	1日	-5.6人	-3.5人	-2.4人
利用者構成（全体に占める割合）				37.1%	62.9%

※ （一部）免除は障害者・生活保護世帯の構成員・小学生以下の利用。

②月別年間記録

	平均利用者数	記録月	(前年度)
月別最高平均利用者数	47.8	12月	4月
月別最低平均利用者数	37.5	3月	1月

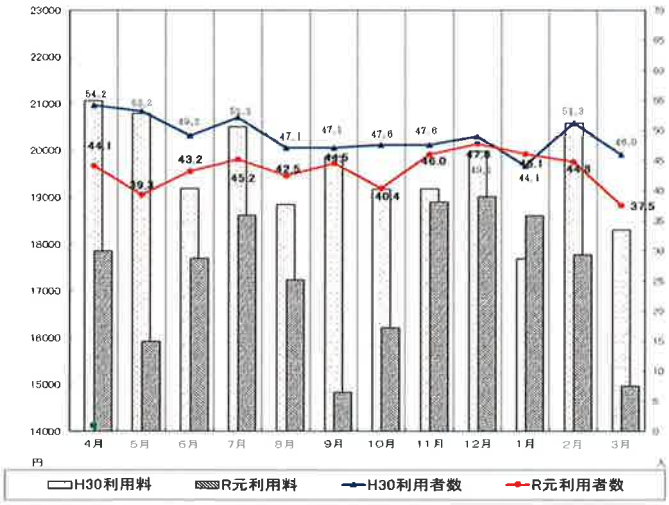
③日別年間記録

	利用者数	記録日
日別最高利用者数	73人	8月23日
日別最低利用者数	9人	5月2日

④曜日別平均利用人数

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
44.5人	44.9人	41.5人	34.6人	52.0人
-4.0人	-4.7人	-8.5人	-8.8人	-1.7人

月別１日当たりの平均利用者との平均外部売上の推移
（前年度比較）



⑤利用者の構成

	一般	小学生以下	福祉割引	合計
町内400区	2,861人	0人	882人	3,743人
町内600区	106人	0人	0人	106人
町外	2,979人	1人	3,584人	6,564人
合計	5,946人	1人	4,466人	10,413人
(前年比)	-629人	-11人	-684人	-1,324人

※ ［中津川⇔長井市］間利用時の表記方法
①乗換利用→町内(400円区)＋町外　　②直行パターン→町外

⑦地区別登録者・利用率

地区名	人口	登録者数	(前年対比)	登録率
中	901人	497人	-12人	55.2%
萩生	1,612人	795人	0人	49.3%
黒沢	528人	291人	-5人	55.1%
椿	1,140人	580人	-2人	50.9%
添川	983人	434人	-6人	44.2%
松原	210人	95人	-1人	45.2%
小白川	538人	323人	-3人	60.0%
手ノ子	496人	310人	0人	62.5%
高峰	313人	262人	-5人	83.7%
中津川	242人	233人	-23人	96.3%
合計	6,963人	3,820人	-57人	54.9%
(前年比)	-150人	-57人		0.4%

注：人口：令和2年3月31日現在

⑧利用施設別 降車ランキング

順位	降車場所区分	人数	(前年比)
1	公立置賜総合病院	574人	-67
2	公立置賜長井病院	502人	-95
3	長井駅	366人	-75
4	羽前椿駅	358人	-362
5	松下クリニック	333人	-56

⑨利用施設別 乗車ランキング

順位	乗車場所区分	人数	(前年比)
1	公立置賜長井病院	637人	-339
2	公立置賜総合病院	606人	17
3	長井駅	413人	355
4	ヤマザワ長井店	360人	42
5	松下クリニック	314人	-61